

# 福井県長期ビジョンの実現に向けた県民アンケートの調査結果

- ・調査期間 令和5年7月26日～8月21日
- ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の3,219人(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)
- ・回答者数 1,583人(回収率 49.18%)

## ○居住地

	送付数	回答数	回収率	割合
福井市	1,111	546	49.1%	34.5%
敦賀市	266	115	43.2%	7.3%
小浜市	118	54	45.8%	3.4%
大野市	127	62	48.8%	3.9%
勝山市	90	50	55.6%	3.2%
鯖江市	291	126	43.3%	8.0%
あわら市	113	54	47.8%	3.4%
越前市	344	169	49.1%	10.7%
坂井市	373	188	50.4%	11.9%
永平寺町	85	39	45.9%	2.5%
池田町	9	7	77.8%	0.4%
南越前町	40	23	57.5%	1.5%
越前町	84	43	51.2%	2.7%
美浜町	38	24	63.2%	1.5%
高浜町	42	20	47.6%	1.3%
おおい町	33	18	54.5%	1.1%
若狭町	55	31	56.4%	2.0%
未記入・無効等	-	14	-	0.9%
計	3,219	1,583	49.18%	100.0%

## ○年齢

	送付数	回答数	回収率	割合
10代	113	52	46.0%	3.3%
20代	584	164	28.1%	10.4%
30代	443	175	39.5%	11.1%
40代	499	239	47.9%	15.1%
50代	448	246	54.9%	15.5%
60代	341	235	68.9%	14.8%
70代～	791	454	57.4%	28.7%
未記入・無効等	-	18	-	1.1%
計	3,219	1,583	49.18%	100.0%

## ○性別

	回答数	割合
男	668	42.2%
女	895	56.5%
答えたくない	3	0.2%
未記入・無効等	17	1.1%
計	1,583	100.0%

## ○職業

	回答数	割合
正規の職員・従業員	538	34.0%
労働者派遣事業所の派遣社員	8	0.5%
パート・アルバイト・その他(契約社員・嘱託など含む)	293	18.5%
会社などの役員	53	3.3%
自営業主(雇人あり)	19	1.2%
自営業主(雇人なし)	74	4.7%
家族従業者	37	2.3%
学生	83	5.2%
主夫・主婦	158	10.0%
無職	276	17.4%
その他	30	1.9%
未記入・無効等	14	0.9%
計	1,583	100.0%

## ○世帯構成

	回答数	割合
ひとり暮らし(単身赴任を含む)	64	4.0%
夫婦のみ	265	16.7%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と子ども)	578	36.5%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と親など)	230	14.5%
3世代同居世帯(本人と子どもと孫)	138	8.7%
3世代同居世帯(親と本人と子ども)	173	10.9%
3世代同居世帯(本人と親と祖父母など)	70	4.4%
その他	50	3.2%
未記入・無効等	15	0.9%
計	1,583	100.0%

## ○配偶者の有無

	回答数	割合
未婚	298	18.8%
配偶者あり	1,166	73.7%
死別	54	3.4%
離別	36	2.3%
未記入・無効等	29	1.8%
計	1,583	100.0%

## ○共働き(配偶者がいる方のみ)

	回答数	割合
共働きである	681	58.4%
共働きではない	455	39.0%
未記入・無効等	30	2.6%
計	1,166	100.0%

## ○18歳未満の子どもはいるか？

	回答数	割合
いる	412	26.0%
いない	1108	70.0%
未記入・無効等	63	4.0%
計	1,583	100.0%

## ○子どもの状況

	回答数	割合
小学校入学前(乳幼児含む)	164	26.5%
小学生	188	30.3%
中学生	131	21.1%
高校生	94	15.2%
その他	36	5.8%
未記入・無効等	7	1.1%
計	620	100.0%

## ○祖父母の家の範囲(小学生以下子どもがいる方のみ)

	回答数	割合
同居	72	25.3%
同じ敷地内の別家屋	33	11.6%
車で15分未満の範囲	76	26.7%
車で15～30分以内の範囲	49	17.2%
車で30分を超える範囲	35	12.3%
その他	7	2.5%
未記入・無効等	13	4.6%
計	285	100.0%

○世帯年間収入(税・社会保険料込)

	回答数	割合
100万円未満	29	1.8%
100万円以上300万円未満	209	13.2%
300万円以上500万円未満	325	20.5%
500万円以上700万円未満	244	15.4%
700万円以上1,000万円未満	272	17.2%
1,000万円以上2,000万円未満	173	10.9%
2,000万円以上3,000万円未満	14	0.9%
3,000万円以上	6	0.4%
わからない	187	11.8%
答えたくない	88	5.6%
未記入・無効等	36	2.3%
計	1,583	100.0%

○最終学歴

	回答数	割合
小・中学	108	6.8%
高校(旧制中学校を含む)	656	41.4%
専門学校	170	10.7%
短大・高専	171	10.8%
大学	399	25.2%
大学院	47	3.0%
その他	4	0.3%
未記入・無効等	28	1.8%
計	1,583	100.0%

○県外の居住歴

	回答数	割合
県外で暮らしたことがない	700	45.0%
1年未満	90	5.8%
1～3年	212	13.6%
4～6年	234	15.0%
7～9年	65	4.2%
10年以上	255	16.4%
計	1,556	100.0%

○心身の健康状態

	回答数	割合
よい	395	25.0%
まあよい	419	26.5%
ふつう	504	31.8%
あまりよくない	207	13.1%
よくない	37	2.3%
未記入・無効等	21	1.3%
計	1,583	100.0%

## 項目別の調査結果

問1 令和6年春に北陸新幹線の福井・敦賀開業が予定されています。あなたは福井県内に新幹線が開業することについて、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,559)

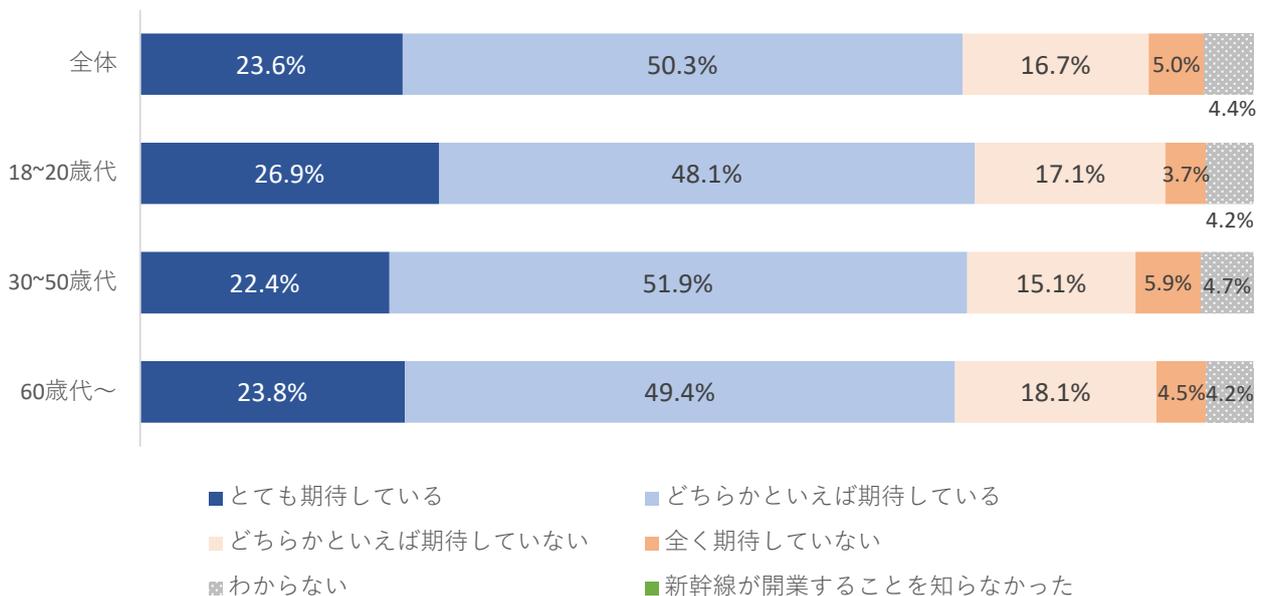
1. とても期待している (368)
2. どちらかといえば期待している (784)
3. どちらかといえば期待していない (260)
4. 全く期待していない (78)
5. わからない (69)
6. 新幹線が開業することを知らなかった (0)

※上記カッコ内は、各項目の回答者数(問2以降も同様)

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数/回答者総数」(問2以降も同様)

※未記入・無効等は除外しているため、設問ごとの回答総数は一致しない場合がある。

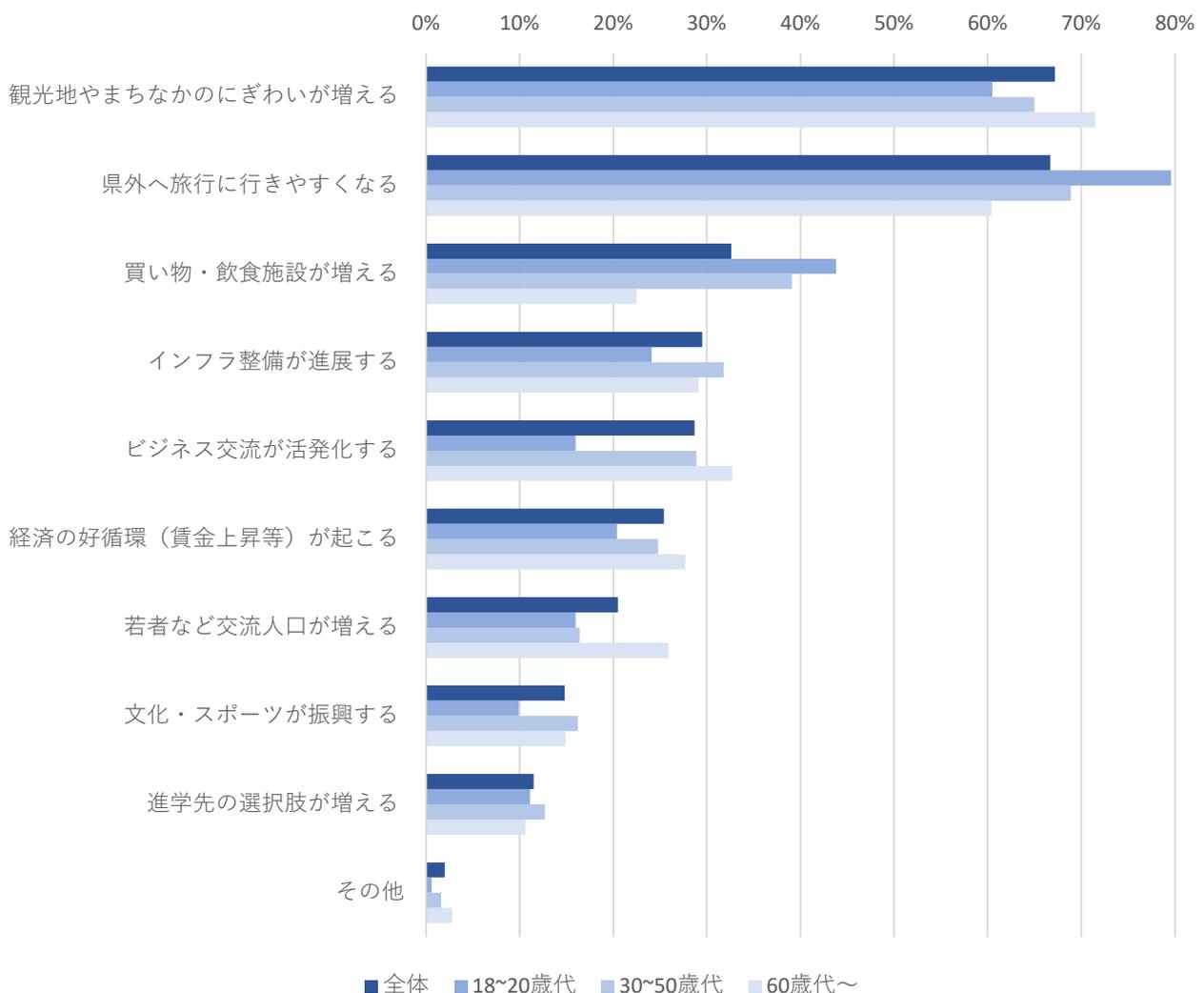
- ・全体として、「とても期待している」、「どちらかといえば期待している」の合計は、73.9%であった。
- ・18~20歳代では、「とても期待している」と回答した割合が26.9%と、他の年代に比べて高かった。



問2 問1で1～2と答えた方のみお答えください。あなたが新幹線開業に期待するのはどのような部分でしょうか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。(n=1,152)

1. 観光地やまちなかのにぎわいが増える (774)
2. 県外へ旅行に行きやすくなる (768)
3. ビジネス交流が活発化する (331)
4. 進学先の選択肢が増える (133)
5. 若者など交流人口が増える (236)
6. インフラ整備が進展する (340)
7. 買い物・飲食施設が増える (375)
8. 文化・スポーツが振興する (170)
9. 経済の好循環(賃金上昇等)が起こる (293)
10. その他 (23)

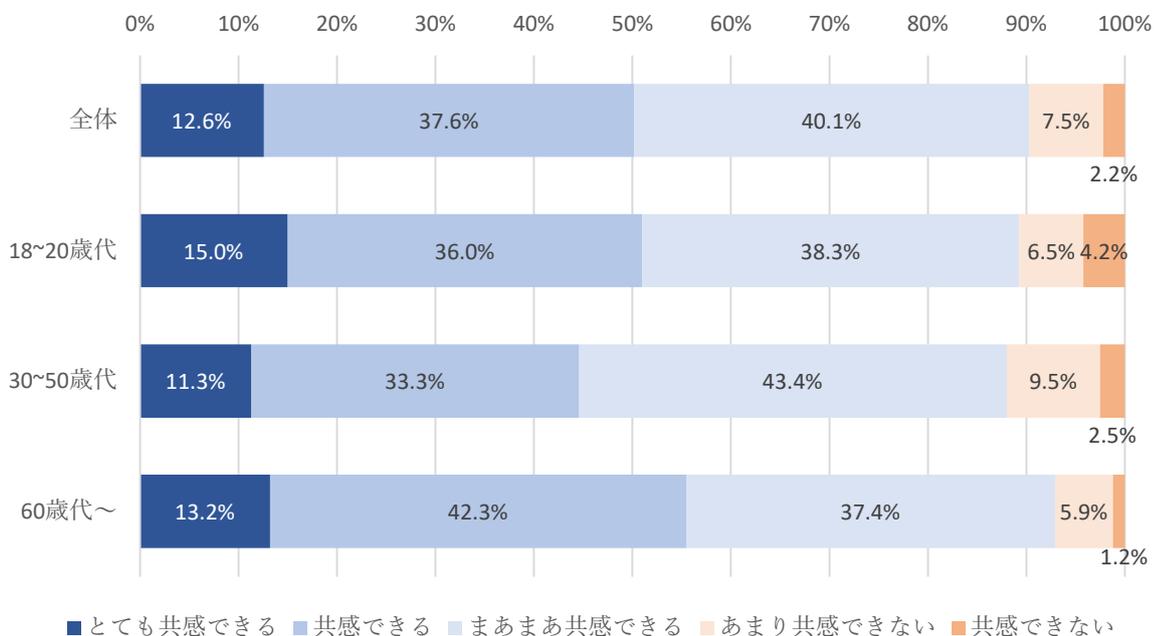
- ・ 全体では、「観光地やまちなかのにぎわいが増える」が67.2%で最も高く、次いで「県外へ旅行に行きやすくなる」が66.7%となった。
- ・ 18～20歳代および30～50歳代では、「県外への旅行に行きやすくなる」と回答した割合が最も高く、60歳以上では、「観光地やまちなかのにぎわいが増える」と回答した割合が最も高かった。



問3 県では、令和2年7月に「福井県長期ビジョン」を策定しました。「福井県長期ビジョン」では、基本理念として『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！』を掲げています。あなたは、この基本理念について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,527)

1. とても共感できる (193)
2. 共感できる (574)
3. まあまあ共感できる (612)
4. あまり共感できない (115)
5. 共感できない (33)

- ・全体では、「とても共感できる」が12.6%、「共感できる」が37.6%、「まあまあ共感できる」が40.1%と、回答者の90.3%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、60歳以上の共感を得ている割合が93.0%と最も高かった。

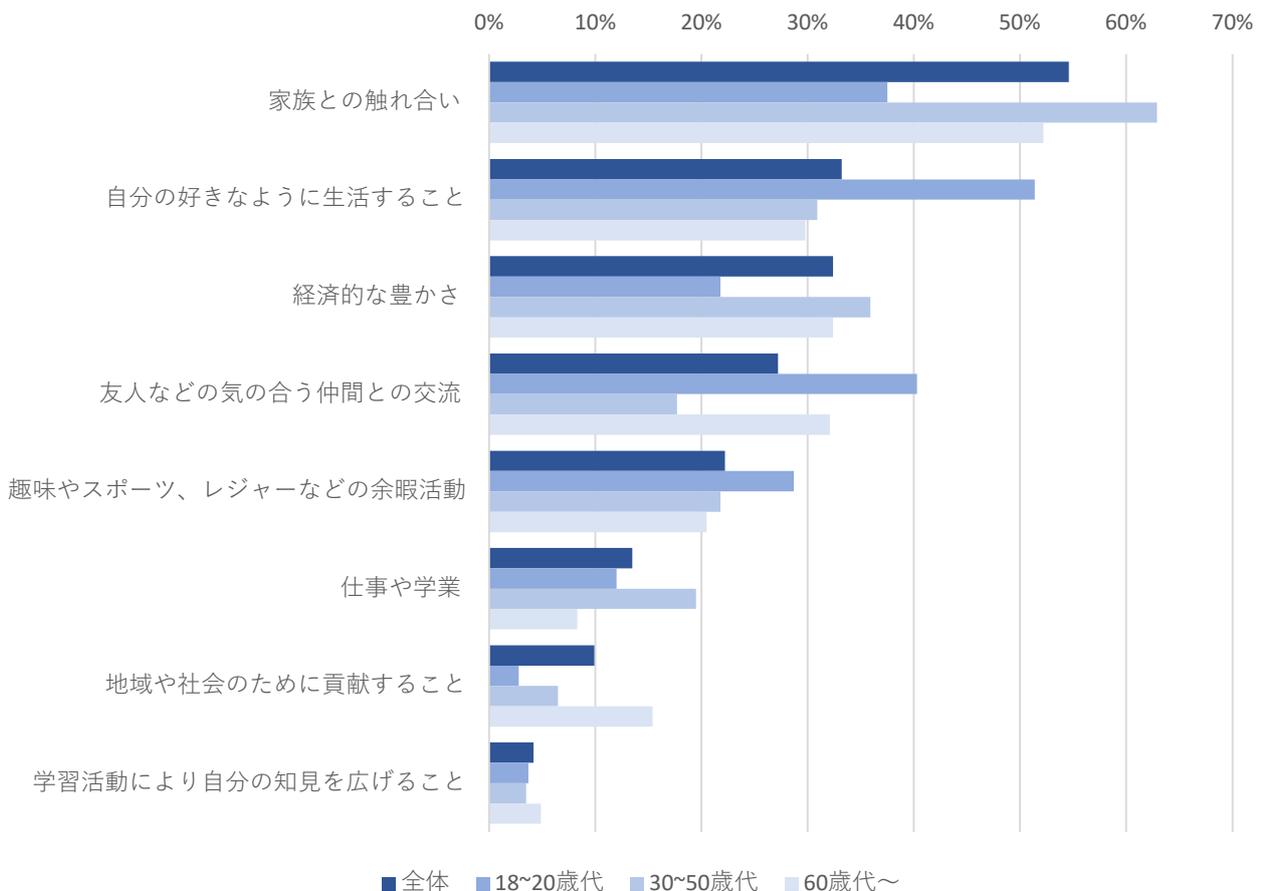


問4 福井県の暮らしについてお聞きします。あなたが、日々の生活の中で大切にしたいと思っていることはどのようなことですか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

(n=1,561)

1. 自分の好きなように生活すること (519)
2. 趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動 (346)
3. 家族との触れ合い (853)
4. 友人などの気の合う仲間との交流 (424)
5. 経済的な豊かさ (506)
6. 仕事や学業 (211)
7. 学習活動により自分の知見を広げること (65)
8. 地域や社会のために貢献すること (155)

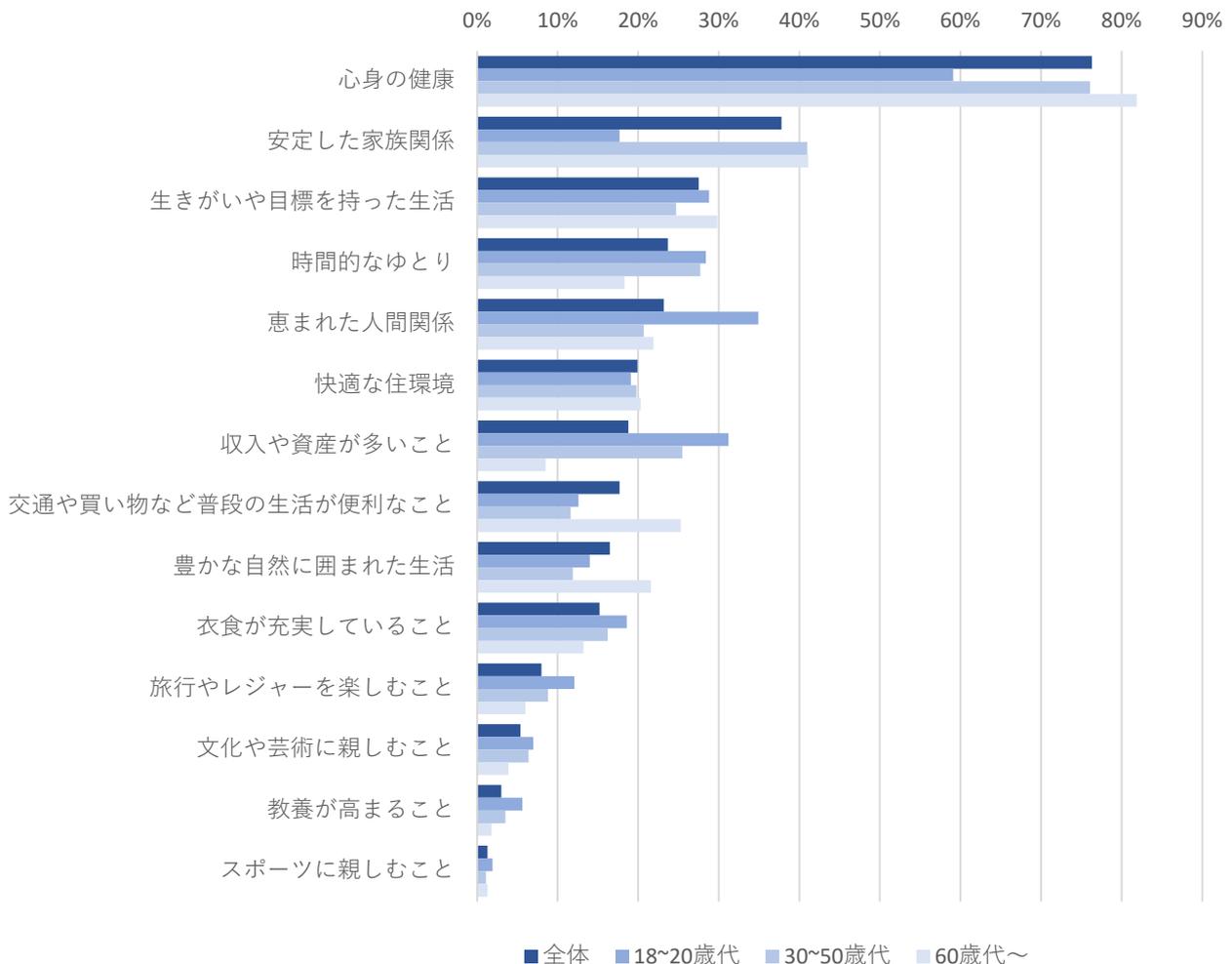
- ・全体では、「家族との触れ合い」が54.6%で最も高く、次いで「自分の好きなように生活すること」が33.2%で高かった。
- ・年代別にみると、それぞれ最も回答割合が高かった項目として、18～20歳代は「自分の好きなように生活すること」、30～50歳代は「家族との触れ合い」、60歳以上も同じく「家族との触れ合い」となった。



問5 あなたにとって「豊かさ」とはどのようなことですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。(n=1,555)

1. 心身の健康 (1,186)
2. 豊かな自然に囲まれた生活 (256)
3. 生きがいや目標を持った生活 (428)
4. 安定した家族関係 (588)
5. 恵まれた人間関係 (361)
6. 時間的なゆとり (368)
7. 衣食が充実していること (236)
8. 快適な住環境 (310)
9. 収入や資産が多いこと (292)
10. 旅行やレジャーを楽しむこと (125)
11. 教養が高まること (47)
12. 文化や芸術に親しむこと (84)
13. スポーツに親しむこと (20)
14. 交通や買い物など普段の生活が便利なこと (276)

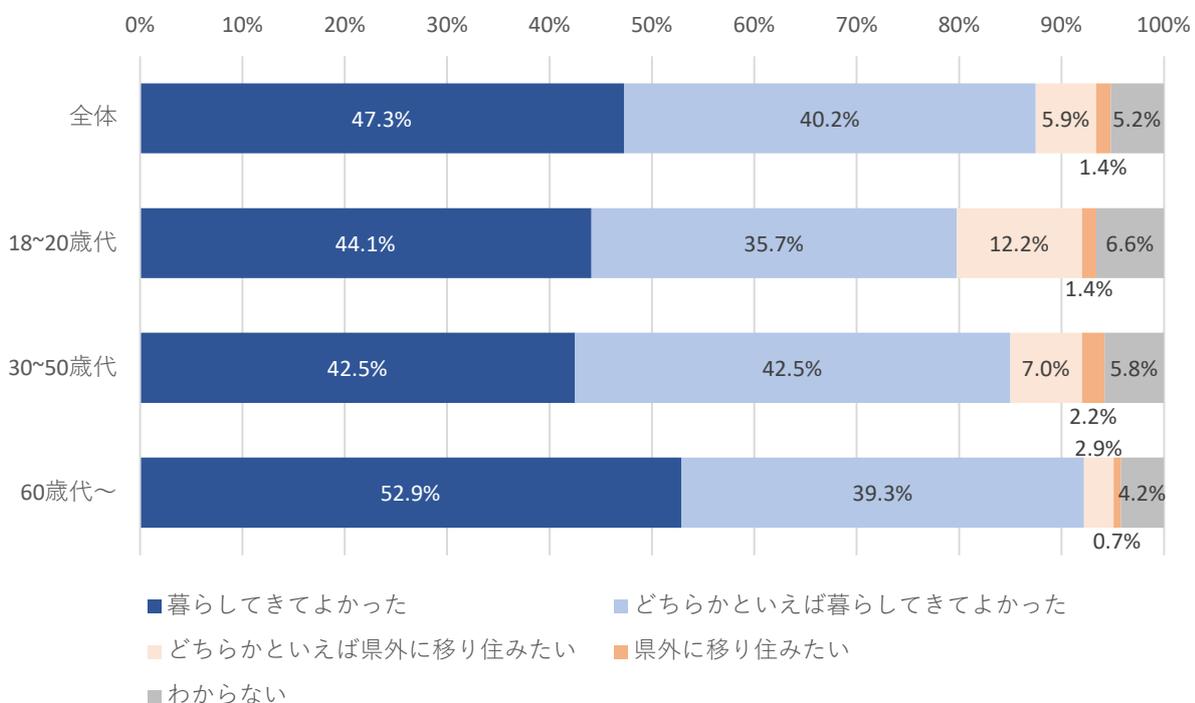
- ・全体では、「心身の健康」が76.3%で最も高く、次いで「安定した家族関係」が37.8%で高かった。
- ・年代別でみると、いずれの世代も最も高いのは「心身の健康」だったが、次いで高い項目は、18～20歳代では「恵まれた人間関係」、30～50歳代および60歳以上では、「安定した家族関係」であった。



問6 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,552)

1. 暮らしてきてよかった (734)
2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (623)
3. どちらかといえば県外に移り住みたい (92)
4. 県外に移り住みたい (22)
5. わからない (81)

- ・全体では、「暮らしてきてよかった」が47.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が40.2%。2つの合計は、87.5%となった。
- ・年代別で見ると、60歳以上の「暮らしてきてよかった」が52.9%で最も高く、「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」の合計割合でも、60歳以上が92.2%で最も高かった。



問7 本県の暮らしの「現在の充足度」と「将来の重要度」についてお聞きします。あなたは次の25の項目について現在どの程度充足されていると考えますか。また、将来の福井県において、どの程度重要であると考えますか。最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

※得点の算出方法

「充足されている」=4点から「充足されていない」=0点までの得点を付与し項目ごとに回答者数で加重平均し指標化。

<現在の充足度>

区分	項目	充足されている	どちらかといえば充足されている	どちらともいえない	どちらかといえば充足されていない	充足されていない	得点
健康	1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	414	714	254	122	50	2.8
	2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	182	513	524	234	88	2.3
	3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	249	662	438	138	60	2.6
	4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	193	663	549	103	22	2.6
	5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	157	508	685	143	45	2.4
	小計	1195	3060	2450	740	265	12.7
文化	6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	140	449	506	282	162	2.1
	7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	149	533	521	237	94	2.3
	8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	264	699	453	91	35	2.7
	9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	225	699	456	126	31	2.6
	10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	48	213	676	343	253	1.6
	小計	826	2593	2612	1079	575	11.3
仕事	11. 安定した産業基盤が維持されている	63	391	714	261	101	2.0
	12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	42	208	827	286	164	1.8
	13. 働く場所と機会が確保されている	117	451	607	254	104	2.2
	14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	53	210	735	326	203	1.7
	15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	102	425	616	255	127	2.1
	小計	377	1685	3499	1382	699	9.8
生活	16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	176	664	560	108	35	2.5
	17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	355	766	333	59	23	2.9
	18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	197	564	526	188	62	2.4
	19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	100	411	467	357	204	1.9
	20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	550	751	197	22	19	3.2
	小計	1378	3156	2083	734	343	12.9
教育	21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	258	734	435	80	32	2.7
	22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	216	698	515	76	33	2.6
	23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	86	395	785	189	76	2.2
	24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	56	238	851	268	120	1.9
	25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	201	641	532	114	49	2.5
	小計	817	2706	3118	727	310	11.9
	総計	4593	13200	13762	4662	2192	58.7

- ・区分別では、「生活」の充足度が12.9ポイントで最も高く、「健康」が12.7ポイント、「教育」が11.9ポイント、「文化」が11.3ポイントと続いた。一方、「仕事」の充足度が最も低く、9.8ポイントであった。
- ・「健康」では、いずれの項目においても充足度が2ポイント台と全体的に高く、中でも「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」は2.8ポイントと特に高かった。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が2.7ポイントと、区分内で最も高くなった。一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」は1.6ポイントと、全区分の中で最低となった。
- ・「仕事」では、「働く場所と機会が確保されている」が2.2ポイントと、区分内で最も高くなった。一方、「働きたいと思える魅力的な職場がある」は、1.7ポイントと低かった。
- ・「生活」では、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.2ポイントと、昨年度に引き続き充足度全項目中で最も高かった。また、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」も2.9ポイントと高い結果になった。一方で、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」は1.9ポイントと低くかった。
- ・「教育」では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が2.7ポイントと高かった。一方「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」は1.9ポイントと充足度が低い。

※得点の算出方法

「重要」=4点から「重要ではない」=0点までの得点を付与し  
項目ごとに回答者数で加重平均し指標化。

<将来の重要度>

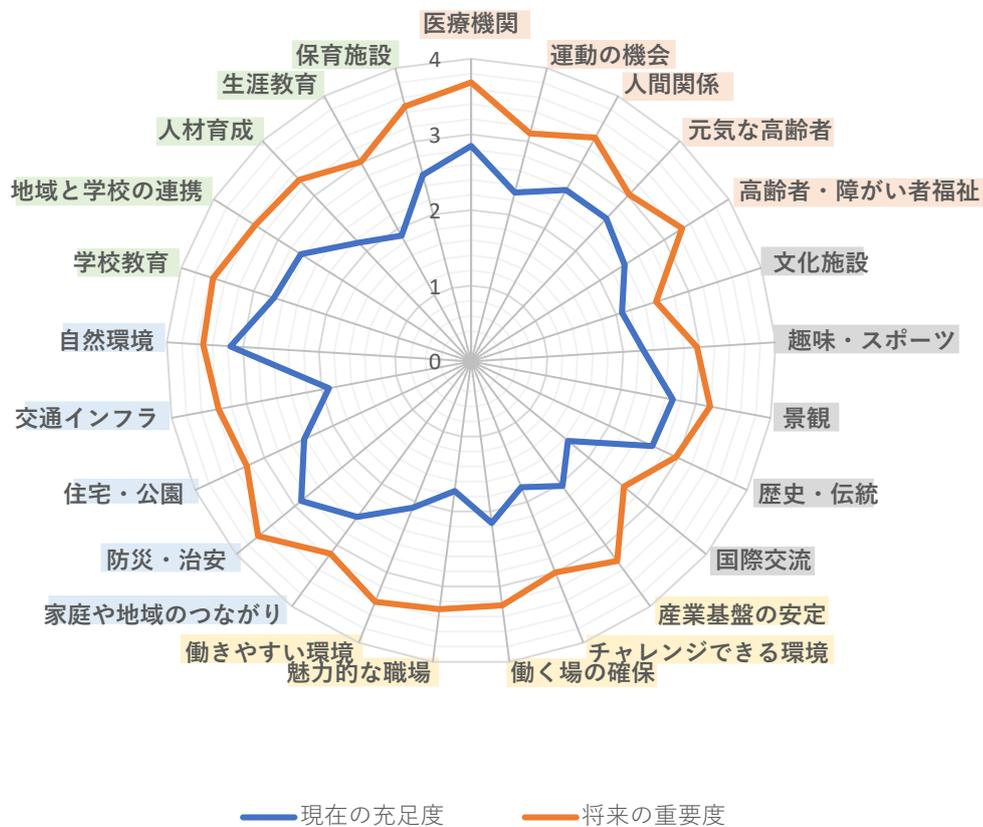
区分	項目	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	得点
健康	1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	1137	341	51	6	5	3.7
	2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	499	745	253	22	13	3.1
	3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	768	581	168	8	5	3.4
	4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	485	686	281	49	22	3.0
	5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	705	578	223	18	6	3.3
	小計	3594	2931	976	103	51	16.5
文化	6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	265	623	509	93	34	2.6
	7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	402	734	331	39	15	3.0
	8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	597	667	228	26	9	3.2
	9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	443	691	321	47	26	3.0
	10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	267	578	528	102	49	2.6
	小計	1974	3293	1917	307	133	14.4
仕事	11. 安定した産業基盤が維持されている	662	618	223	14	5	3.3
	12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	470	633	372	32	11	3.0
	13. 働く場所と機会が確保されている	762	557	183	12	7	3.3
	14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	734	540	214	16	11	3.3
	15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	848	484	158	14	9	3.4
	小計	3476	2832	1150	88	43	16.3
生活	16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	564	676	248	29	14	3.1
	17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	1052	392	67	11	3	3.6
	18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	620	686	194	16	8	3.3
	19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	770	601	131	18	10	3.4
	20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	918	512	83	5	9	3.5
	小計	3924	2867	723	79	44	16.9
教育	21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	982	437	100	3	7	3.6
	22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	861	519	138	3	7	3.4
	23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	713	569	221	10	9	3.3
	24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	485	629	360	38	13	3.0
	25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	909	463	143	5	8	3.5
	小計	3950	2617	962	59	44	16.8
	総計	16918	14540	5728	636	315	80.9

- ・区分別では、「生活」の重要度が16.9ポイントで最も高く、「教育」が16.8ポイント、「健康」が16.5ポイント、「仕事」が16.3ポイントと続いた。最もポイントが低かったのは「文化」で、14.4ポイントであった。
- ・「健康」では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が3.7ポイントと全25項目の中でも最も高かった。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が3.2ポイントと最も高い。一方、「美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる」と「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」は、全25項目の中で最も低い2.6ポイントであった。
- ・「仕事」では、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」が高く、3.4ポイントであった。
- ・「生活」では、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が3.6ポイントと高かった。
- ・「教育」では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が3.6ポイントと高かった。

<現在の充足度と将来の重要度の差>

- ・区分別では、「仕事」の差分が最も大きく、全項目において 1.0 ポイント差以上、合計では現在の充足度から 6.5 ポイントの差が生じている。最も差分が小さかったのは「文化」で、合計で 3.1 ポイント差であった。
- ・全 25 項目中最も差分が大きくなったのは、「仕事」の「働きたいと思える魅力的な職場がある」で 1.6 ポイント差であった。
- ・「仕事」以外で差分が大きかった項目として、「生活」の「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」で、1.5 ポイント差であった。

現在の充足度と将来の重要度



問8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。また、あなたの想像では、5年後どの程度幸せになっていると思いますか。それぞれについて、いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

<現在> (n=1,565)

0点 (24)	1点 (6)	2点 (11)	3点 (36)
4点 (43)	5点 (213)	6点 (181)	7点 (375)
8点 (374)	9点 (152)	10点 (150)	

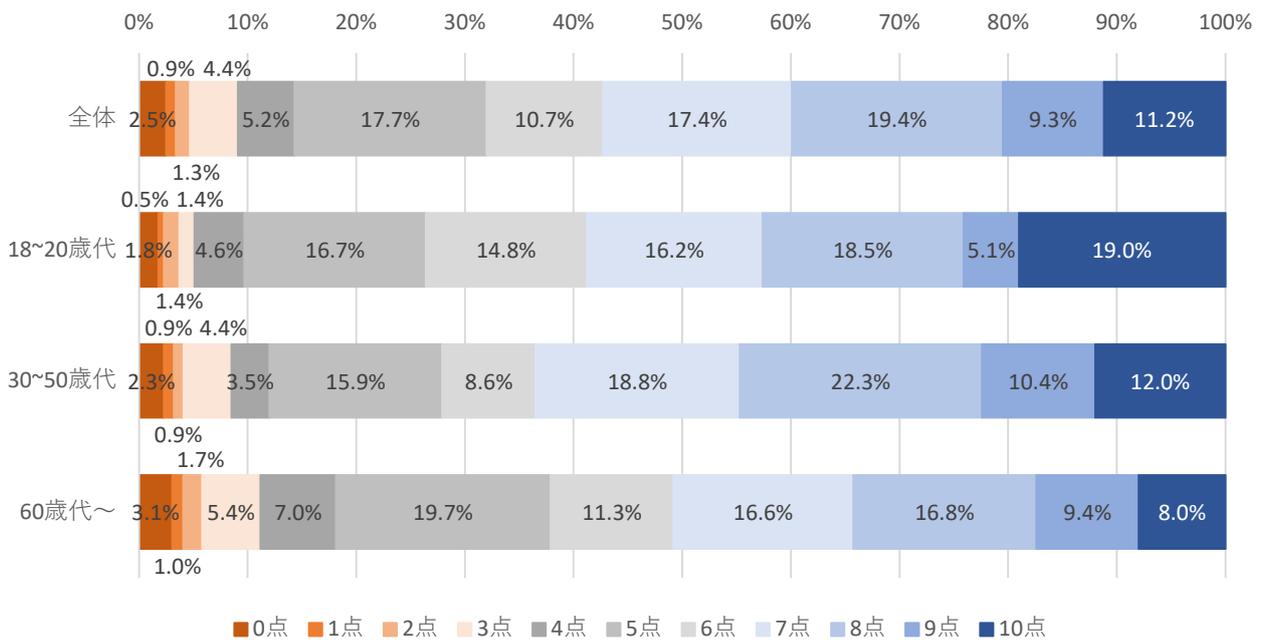
- ・全体では、「7点」が24.0%で最も高く、次いで「8点」が23.9%が高かった。「7点以上」が全体の67.2%を占めている。
- ・年代別でみると、「7点以上」の割合は、18歳～20歳代が58.3%、30歳～50歳代が67.2%、60歳以上が69.9%と年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられた。



< 5年後 > (n=1,565)

0点 (40)	1点 (14)	2点 (21)	3点 (69)
4点 (81)	5点 (277)	6点 (167)	7点 (273)
8点 (303)	9点 (145)	10点 (175)	

- ・全体では、「8点」が19.4%で最も高く、次いで「5点」が17.7%で高かった。「7点以上」が全体の57.3%を占めている。
- ・年代別でみると、「7点以上」の割合は、18歳～20歳代が58.8%、30歳～50歳代が63.6%と年代が上がるが高くなるが、60歳以上では50.7%と低くなった。

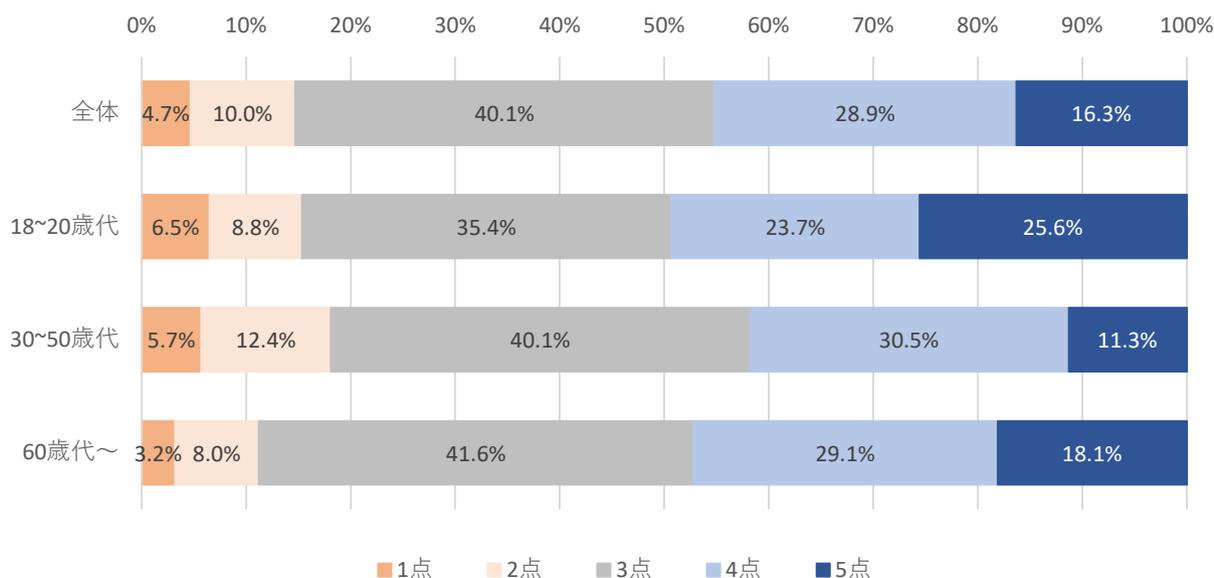


問9 「全くそう思わない」を1点、「強くそう思う」を5点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

(1) あなたの住んでいる地域に自分の居場所があると感じますか。あてはまる点数のところに1箇所○をつけてください。(n=1,546)

1点 (73)                  2点 (154)                  3点 (620)                  4点 (447)                  5点 (252)

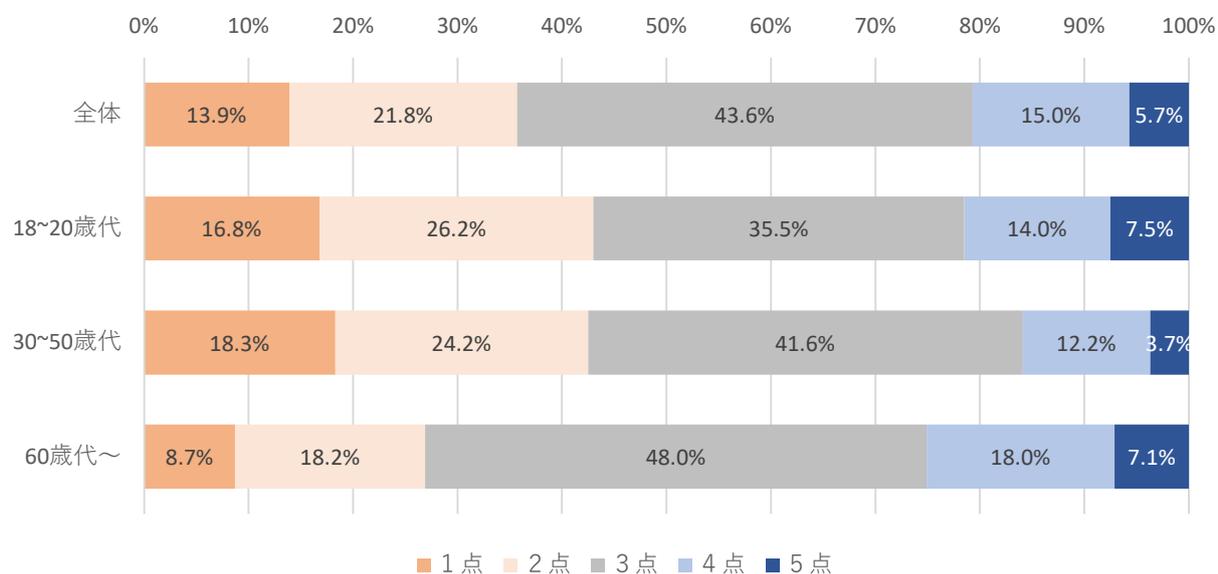
- ・全体では、「3点」が40.1%で最も高く、次いで「4点」が28.9%が高かった。
- ・年代別で見ると、18～20歳代の「5点」が25.6%で最も高く、30歳～50歳代より14.3%高かった。



(2) あなたの住んでいる地域に自己表現ができたり、活躍できたりする場があると感じますか。あてはまる点数のところに1箇所○をつけてください。(n=1,545)

1点 (215)                  2点 (337)                  3点 (673)                  4点 (232)                  5点 (89)

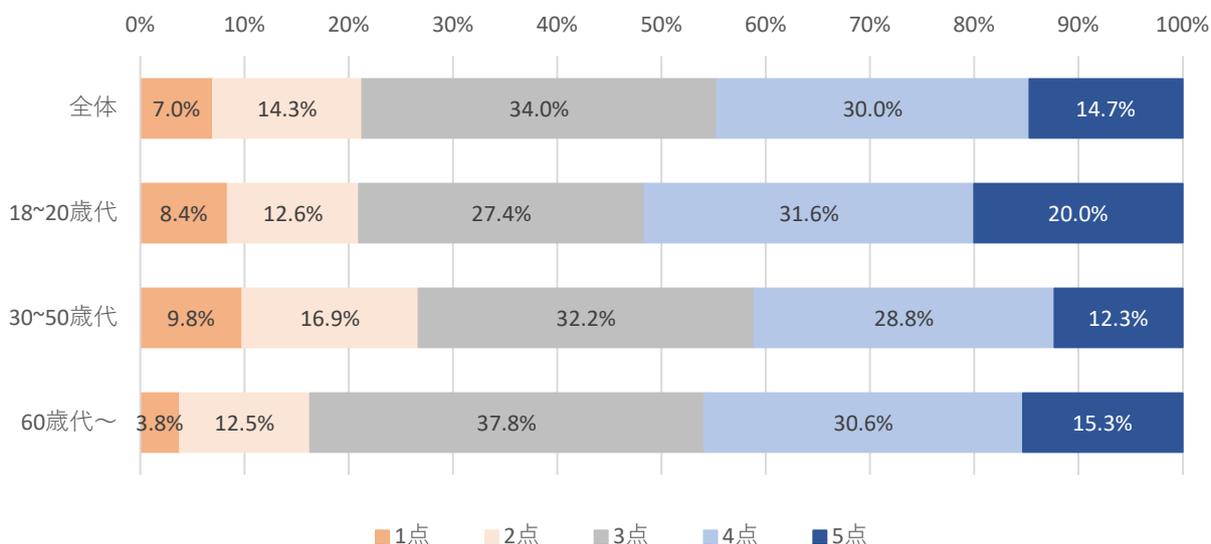
- ・全体では、「3点」が43.6%で最も高く、次いで「2点」が21.8%が高かった。
- ・年代別で見ると、18～20歳代の「5点」が7.5%で最も高く、30歳～50歳代より3.8%高かった。



(3) あなたの住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。あてはまる点数のところに1箇所にもつけてください。(n=1,547)

1点 (108)      2点 (222)      3点 (526)      4点 (464)      5点 (227)

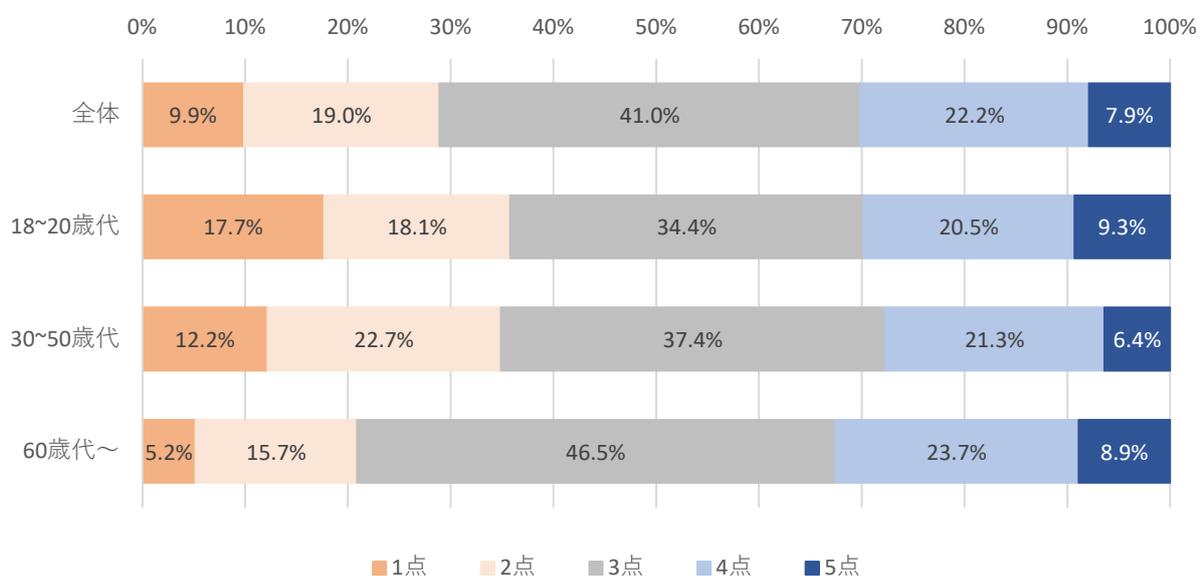
- ・全体では、「3点」が34.0%で最も高く、次いで「4点」が30.0%が高かった。
- ・年代別で見ると、18～20歳代の「5点」が20.0%で最も高く、30歳～50歳代より7.7%高かった。



(4) あなたは、あなたの住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に自信をもっておすすめできると感じますか。あてはまる点数のところに1箇所にもつけてください。(n=1,543)

1点 (153)      2点 (293)      3点 (632)      4点 (343)      5点 (122)

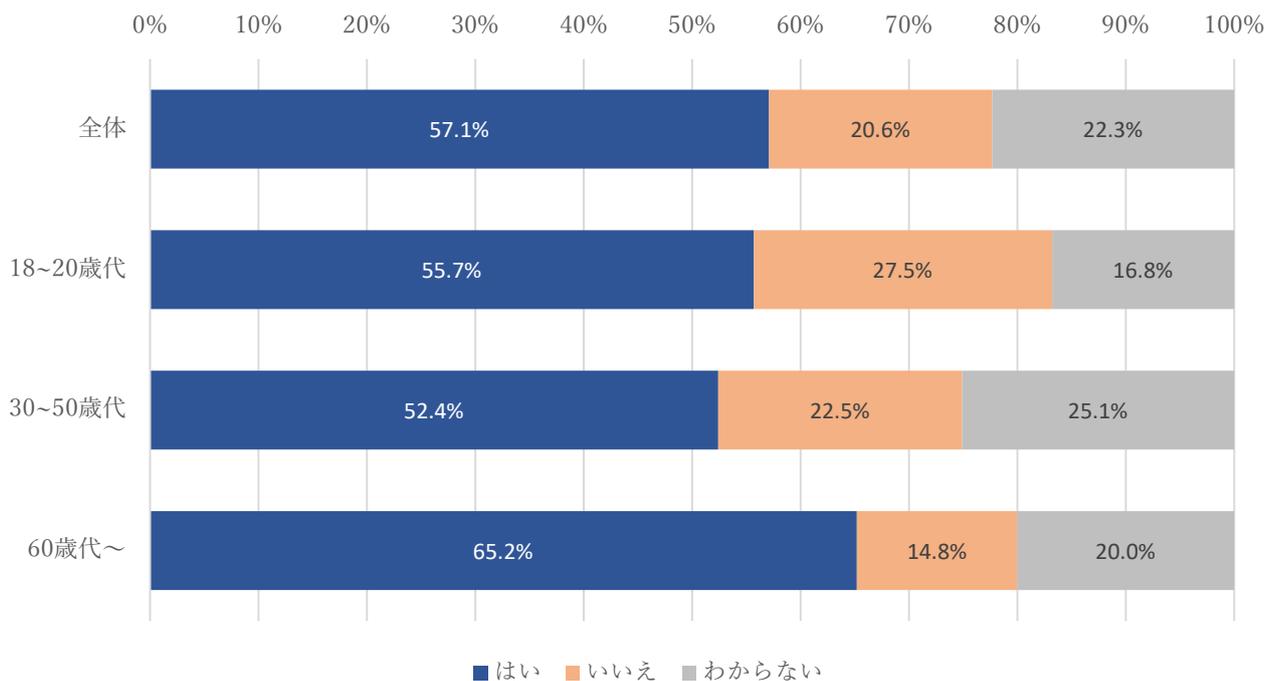
- ・全体では、「3点」が41.0%で最も高く、次いで「4点」が22.2%が高かった。
- ・年代別で見ると、18～20歳代の「5点」が9.3%で最も高く、30歳～50歳代より2.9%高かった。



問 10 あなたは、日々の仕事に、喜びや楽しみを感じていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。なお、答えにくい場合は、「はい」か「いいえ」のどちらにより近いかお答えください。(n=1,147) ※「4. 現在、仕事をしていない(387)」を除く

1. はい (655)
2. いいえ (236)
3. わからない (256)

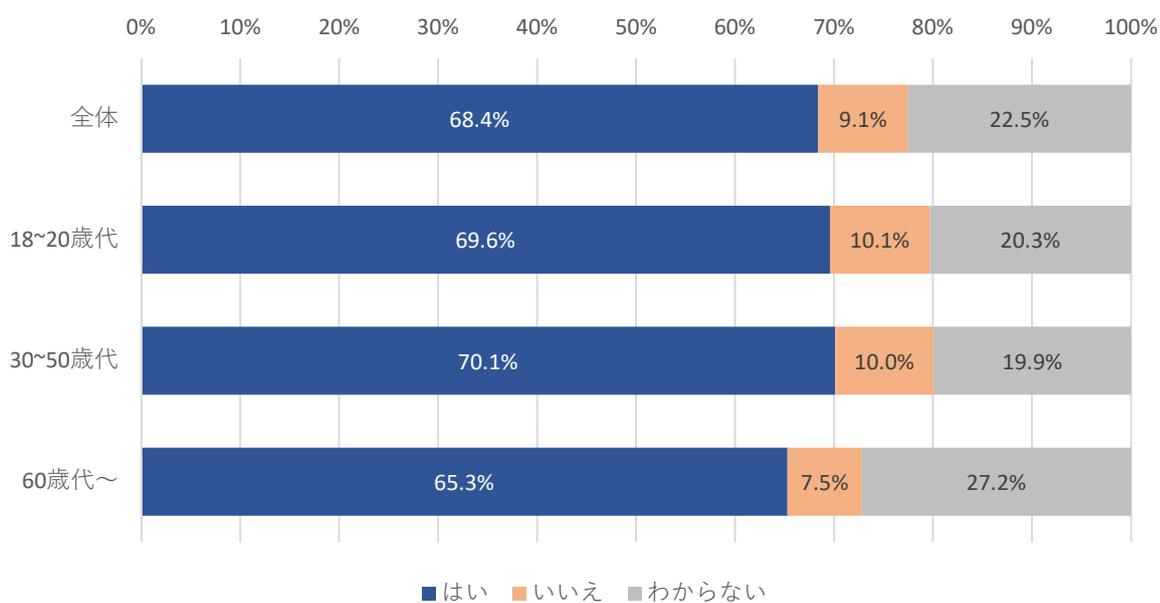
- ・全体では、「はい」が57.1%で最も高かった。
- ・年代別でみると、60歳代以上の「はい」が65.2%で最も高かった。



問 11 自分の仕事は、人々の生活をより良くすることにつながっていると思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。なお、答えにくい場合は、「はい」か「いいえ」のどちらにより近いかお答えください。(n=1,149)

1. はい (786)
2. いいえ (105)
3. わからない (258)

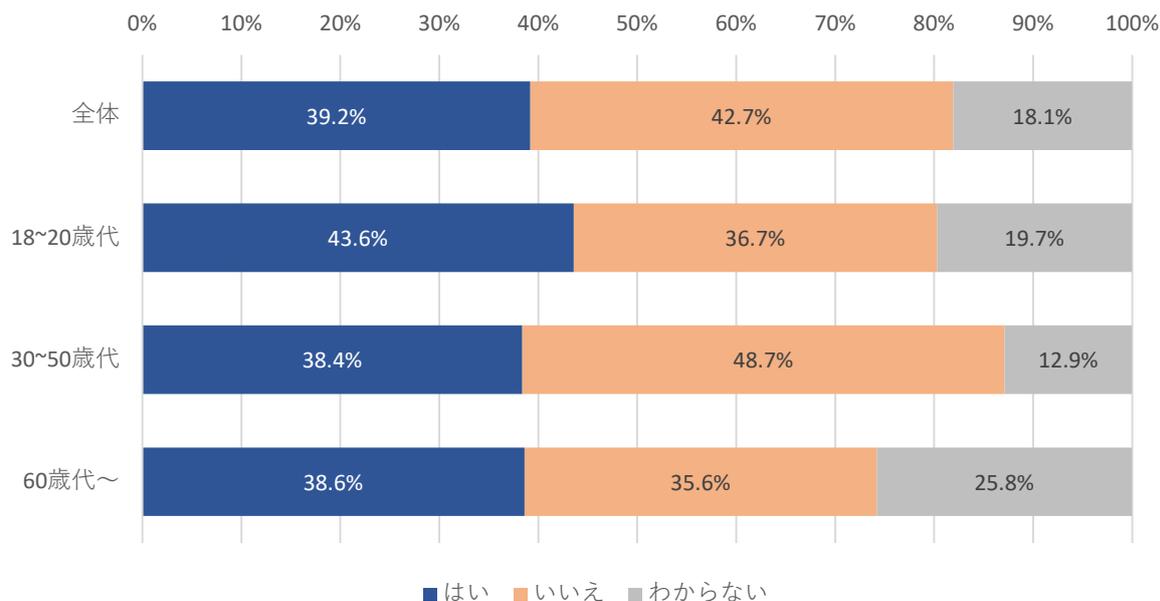
- ・全体では、「はい」が68.4%で最も高かった。
- ・年代別でみると、30歳～50歳代の「はい」が70.1%で最も高かった。



問 12 自分の仕事や働き方は、多くの選択肢の中から、あなたが選べる状態ですか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。なお、答えにくい場合は、「はい」か「いいえ」のどちらにより近いかお答えください。(n=1,149)

1. はい (450)
2. いいえ (491)
3. わからない (208)

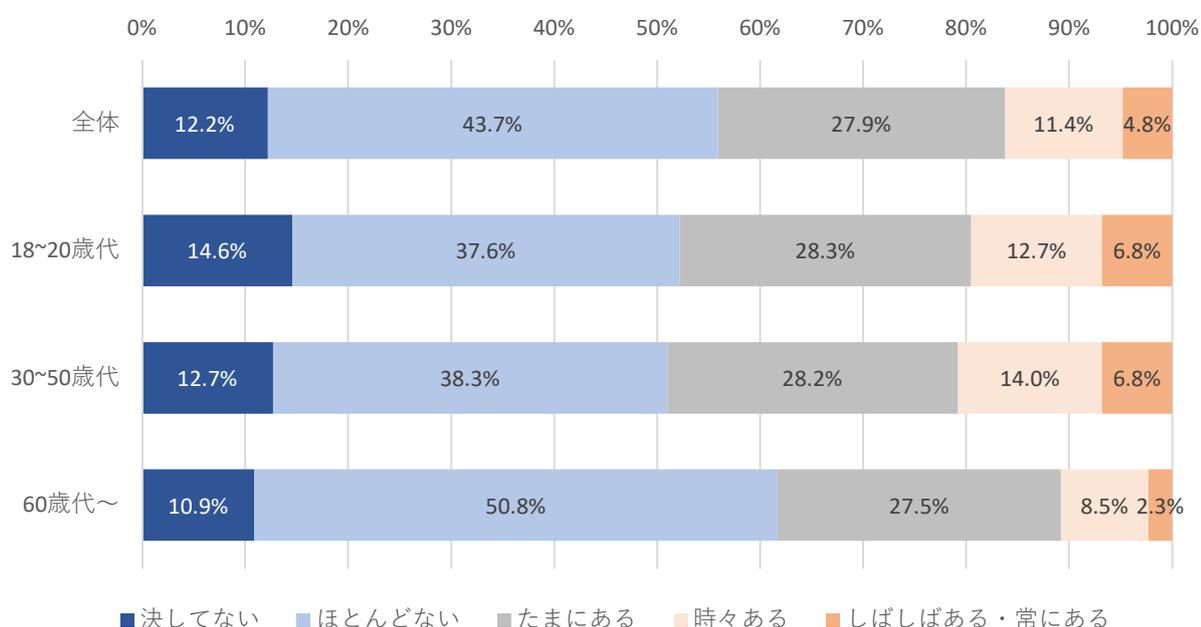
- ・全体では、「いいえ」が42.7%で最も高かった。
- ・年代別でみると、18歳~20歳代の「はい」が43.6%で最も高かった。



問 13 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,476)

1. 決してない (180)
2. ほとんどない (645)
3. たまにある (412)
4. 時々ある (168)
5. しばしばある・常にある (71)

- ・全体では、「ほとんどない」が43.7%で最も高く、次いで「たまにある」が27.9%で高かった。
- ・年代別では、60歳代以上の「決してない」と「ほとんどない」の割合合計が61.7%となり、他の年代より高かった。

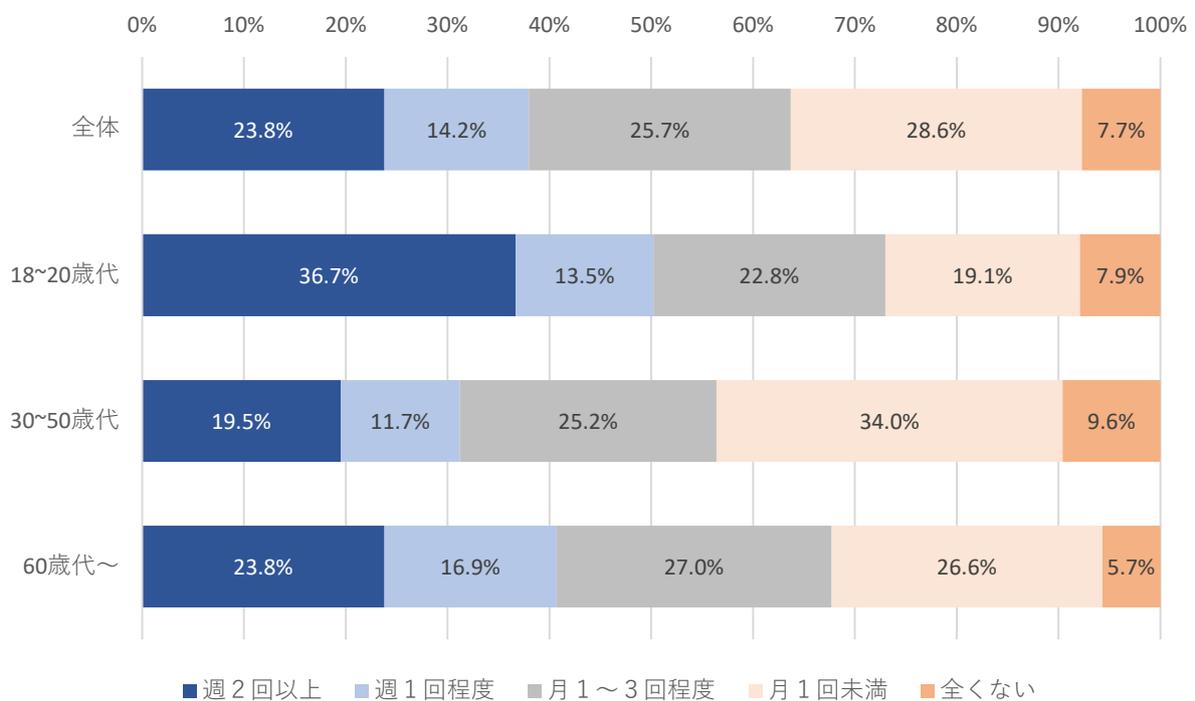


問 14 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。あなたと同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度について、①～④ごとにそれぞれお答えください（①～④について、それぞれ○は1つだけ）。

<① 直接会って話す> (n=1,501)

1. 週2回以上 (357)
2. 週1回程度 (213)
3. 月1～3回程度 (385)
4. 月1回未満 (430)
5. 全くない (116)

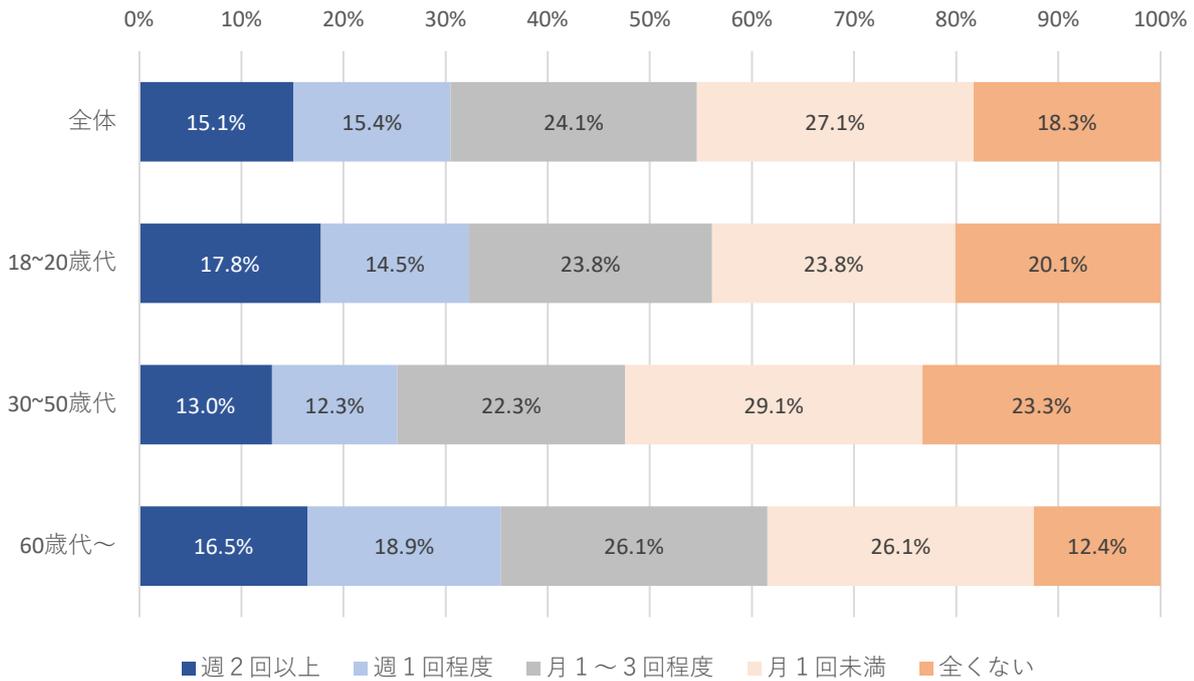
- ・全体では、「月1回未満」が28.6%で最も高く、次いで「月1～3回程度」が25.7%で高かった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「週2回以上」が36.7%で他の年代より高かった。



<② 電話（ビデオ通話含む）>（n=1,467）

1. 週2回以上（222）
2. 週1回程度（226）
3. 月1～3回程度（354）
4. 月1回未満（397）
5. 全くない（268）

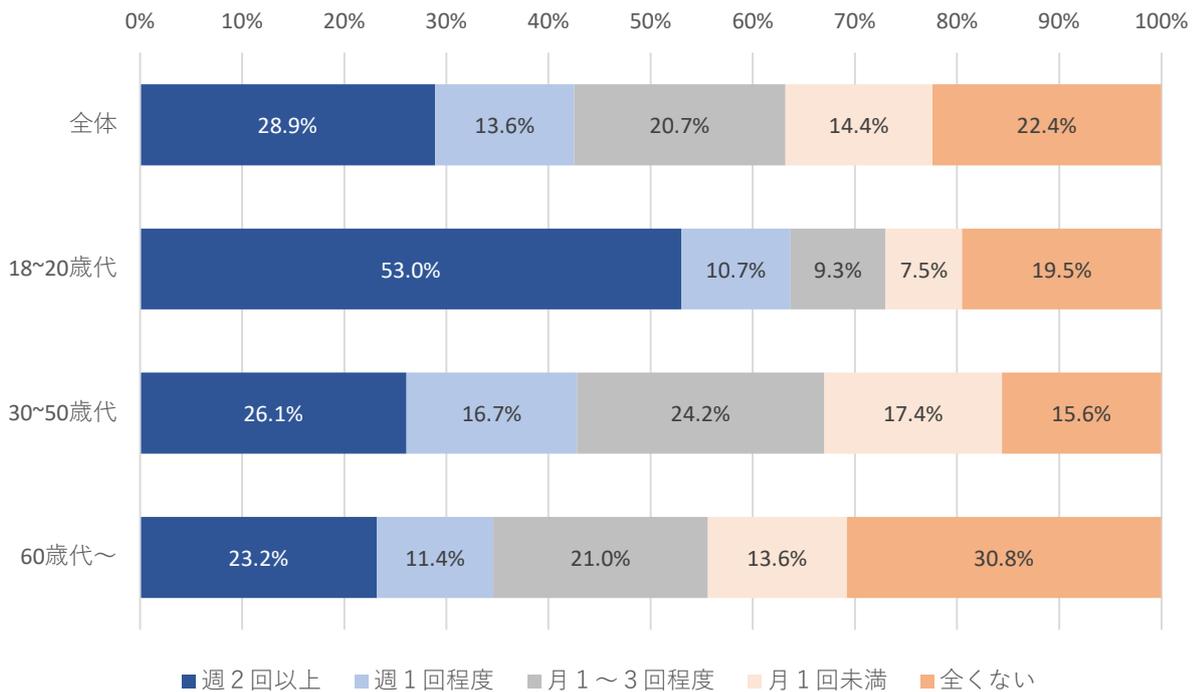
- ・全体では、「月1回未満」が27.1%で最も高く、次いで「月1～3回程度」が24.1%となった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「週2回以上」が17.8%で他の年代より高かった。



<③ SNS (LINE によるチャットなど) > (n=1,458)

1. 週2回以上 (421)
2. 週1回程度 (199)
3. 月1~3回程度 (302)
4. 月1回未満 (210)
5. 全くない (326)

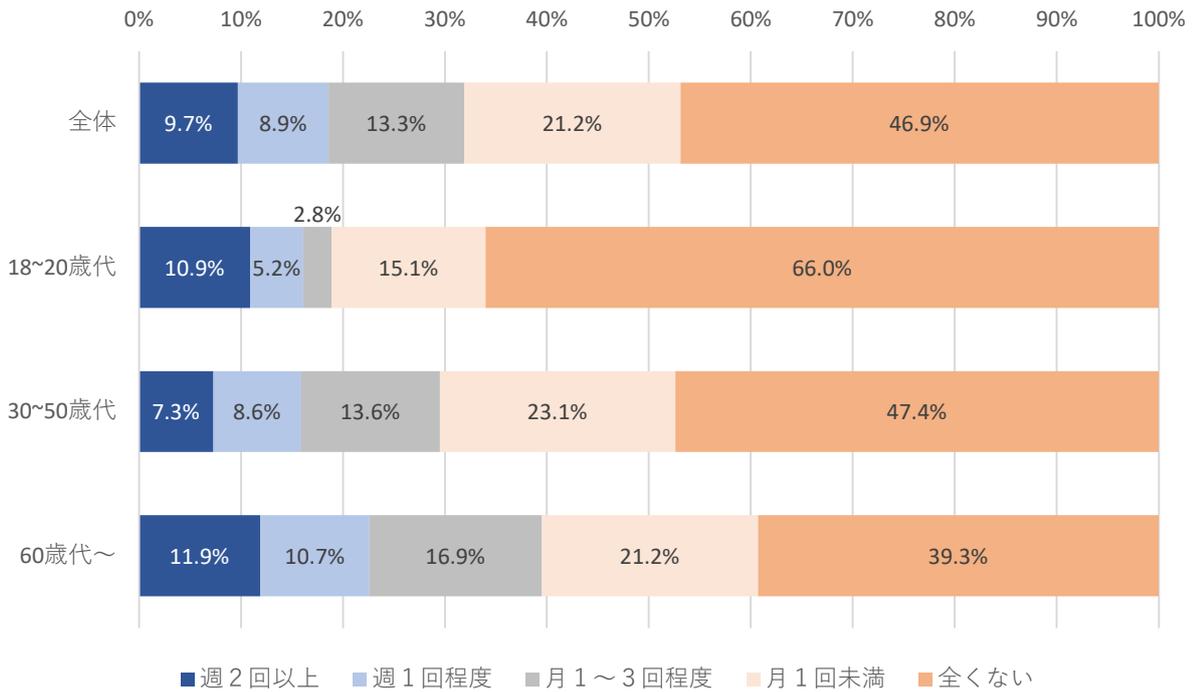
- ・全体では、「週2回以上」が28.9%で最も高く、次いで「全くない」が22.4%となった。
- ・年代別では、18歳~20歳代の「週2回以上」が53.0%で他の年代より高かった。



<④ 電子メールやショートメール> (n=1,423)

1. 週2回以上 (138)
2. 週1回程度 (127)
3. 月1~3回程度 (190)
4. 月1回未満 (301)
5. 全くない (667)

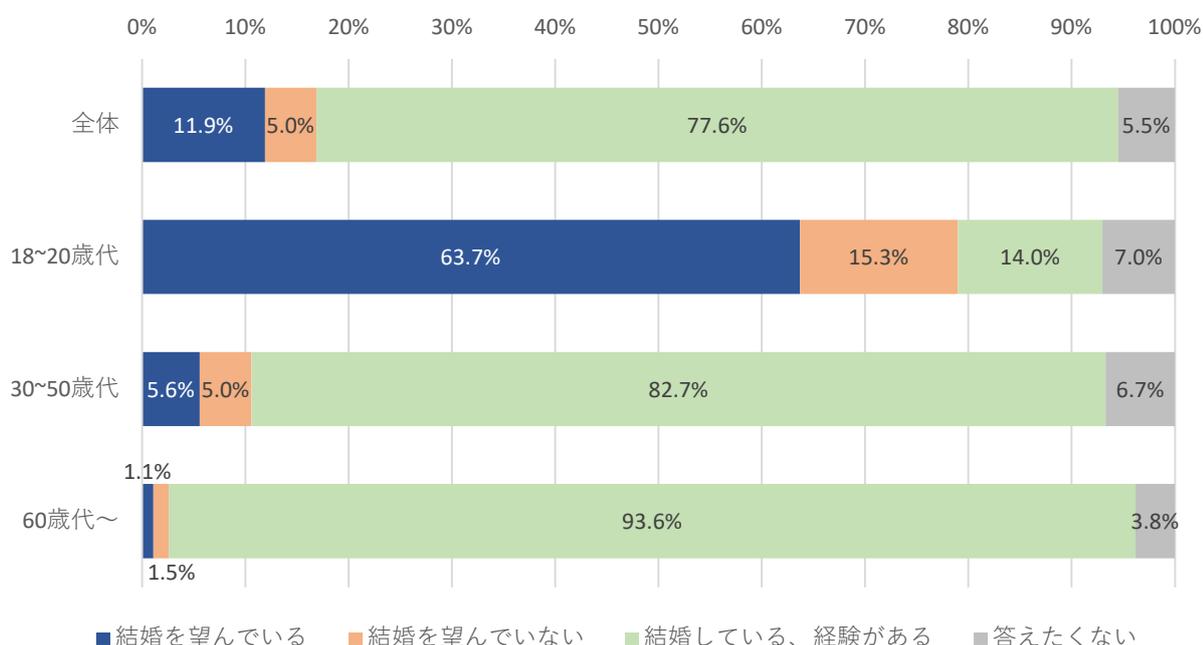
- ・全体では、「全くない」が46.9%で最も高く、次いで「月1回未満」が21.2%となった。
- ・年代別では、18歳~20歳代の「全くない」が66.0%で他の年代より高かった。



問 15 あなたの結婚に対するお考え、実態についてお聞きします。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。また、1に○をつけられた方は結婚希望年齢（何歳ぐらいのときに結婚したいと思うか）を、3に○をつけられた方は初婚年齢をご記入ください。（n=1,509）

1. 結婚を望んでいる（180）
2. 結婚を望んでいない（75）
3. 結婚している、経験がある（1,171）
4. 答えたくない（83）

- ・ 全体では、「結婚している、経験がある」が77.6%で最も高かった。
- ・ 年代別では、18歳～20歳代の「結婚を望んでいる」が63.7%と高かった。

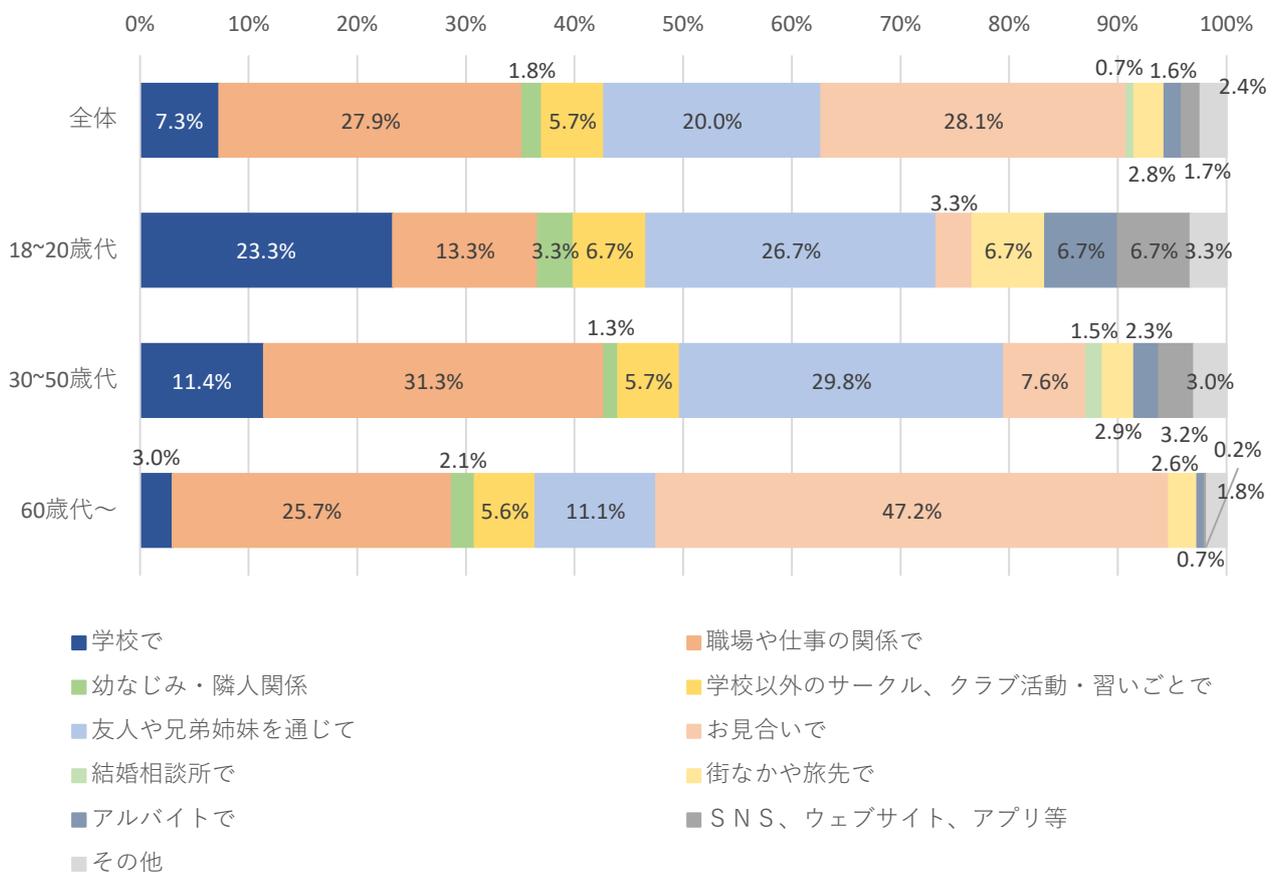


問 16 問 15 で 3 と答えた方のみお答えください。結婚相手の方と、どのようなきっかけでお知り合いになりましたか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

(n=1,163)

1. 学校で (85)
2. 職場や仕事の関係で (325)
3. 幼なじみ・隣人関係 (21)
4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで (66)
5. 友人や兄弟姉妹を通じて (232)
6. お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む) (327)
7. 結婚相談所で (オンラインを含む) (8)
8. 街なかや旅先で (33)
9. アルバイトで (18)
10. (1~9以外で) SNS、ウェブサイト、アプリ等によるやり取りがきっかけで (20)
11. その他 (28)

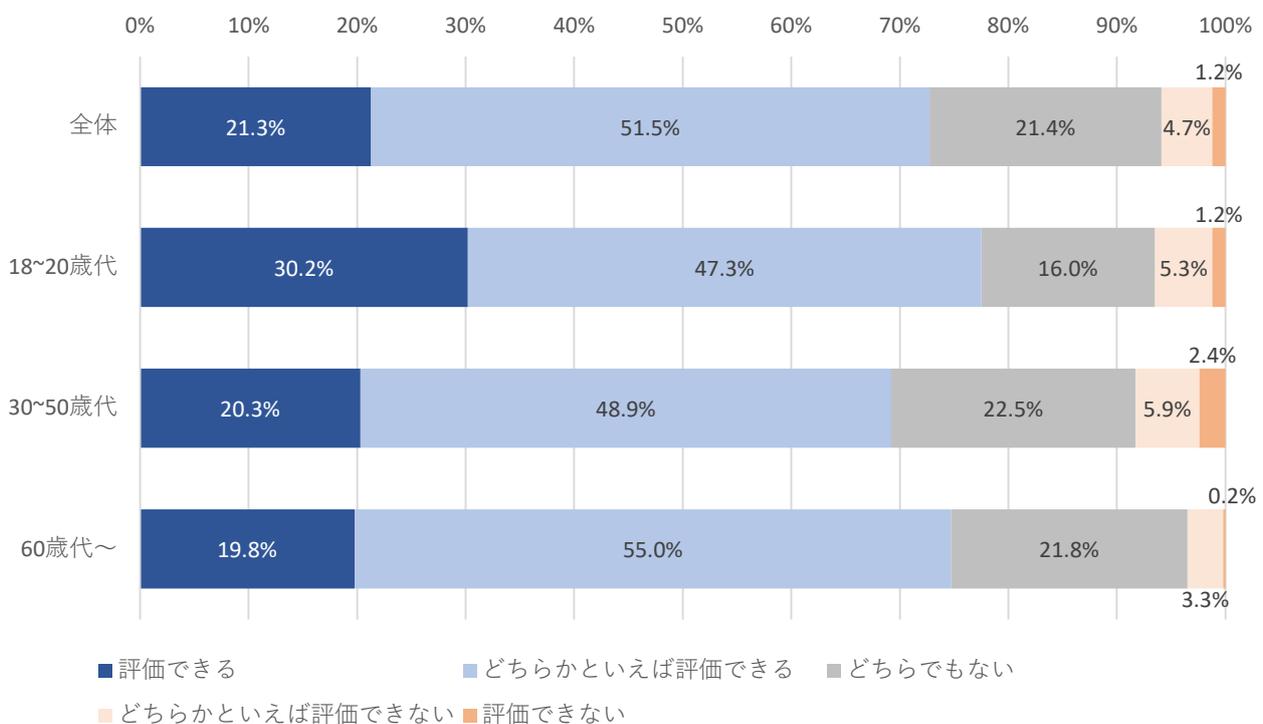
- ・全体では、「お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む)」が 28.1% で最も高く、次いで「職場や仕事の関係で」が 27.9% で高かった。
- ・年代別で見ると、18 歳~20 歳代では、「友人や兄弟姉妹を通じて」が 26.7% で高く、30 歳代~50 歳代では、「職場や仕事の関係で」が 31.3% で高く、60 歳代以上では、「お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む)」が 47.2% で高かった。



問 17 福井県は日本一幸福な子育て県「ふく育県」を宣言し、保育料無償化をはじめとした経済的支援や、子育てにおける負担感を減らす施策、子育てをもっと楽しくする施策など、子育て世帯へのよりきめ細やかな支援を市町とともに進めています。あなたから見て、福井県が実施する「ふく育県」としての子育て施策を評価できますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,376) ※「6. 「ふく育県」という言葉を知らなかった(168)」を除く

1. 評価できる (293)
2. どちらかといえば評価できる (708)
3. どちらでもない (294)
4. どちらかといえば評価できない (64)
5. 評価できない (17)

- ・ 全体では、「評価できる」が21.3%、「どちらかといえば評価できる」が51.5%と、回答者の72.8%から評価されている。
- ・ 年代別では、18～20歳代で「評価できる」と「どちらかといえば評価できる」の合計が77.5%で最も高かった。

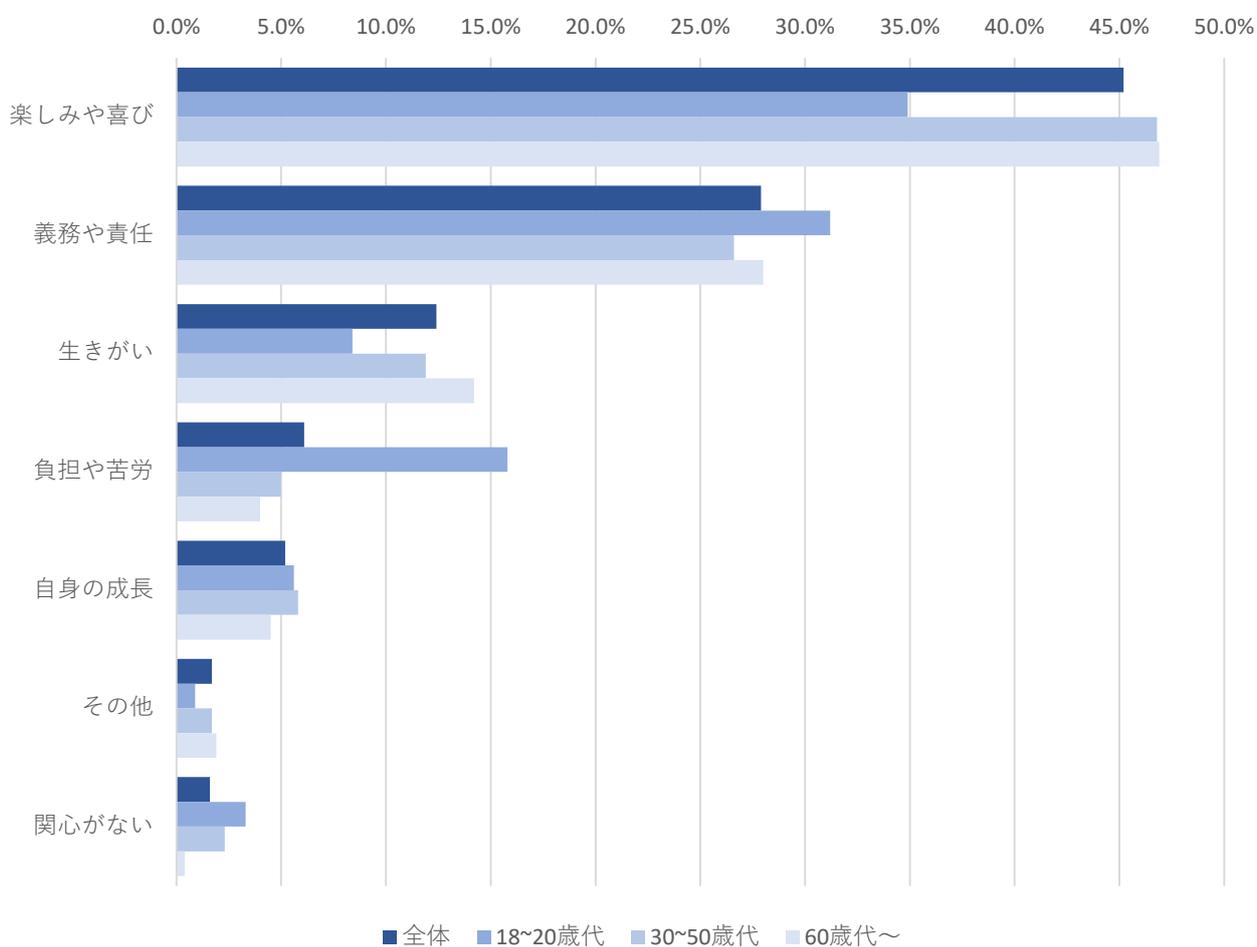


問 18 子育てについてお聞きします。

あなたは、子育てについてどのようなイメージを持っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,547)

1. 生きがい (192)
2. 楽しみや喜び (699)
3. 義務や責任 (431)
4. 負担や苦勞 (94)
5. 自身の成長 (80)
6. 関心がない (25)
7. その他 (26)

- ・全体では、「楽しみや喜び」が45.2%で最も高く、次いで「義務や責任」が27.9%で高かった。
- ・年代別で見ると、全ての年代において「楽しみや喜び」の割合が最も高かった。

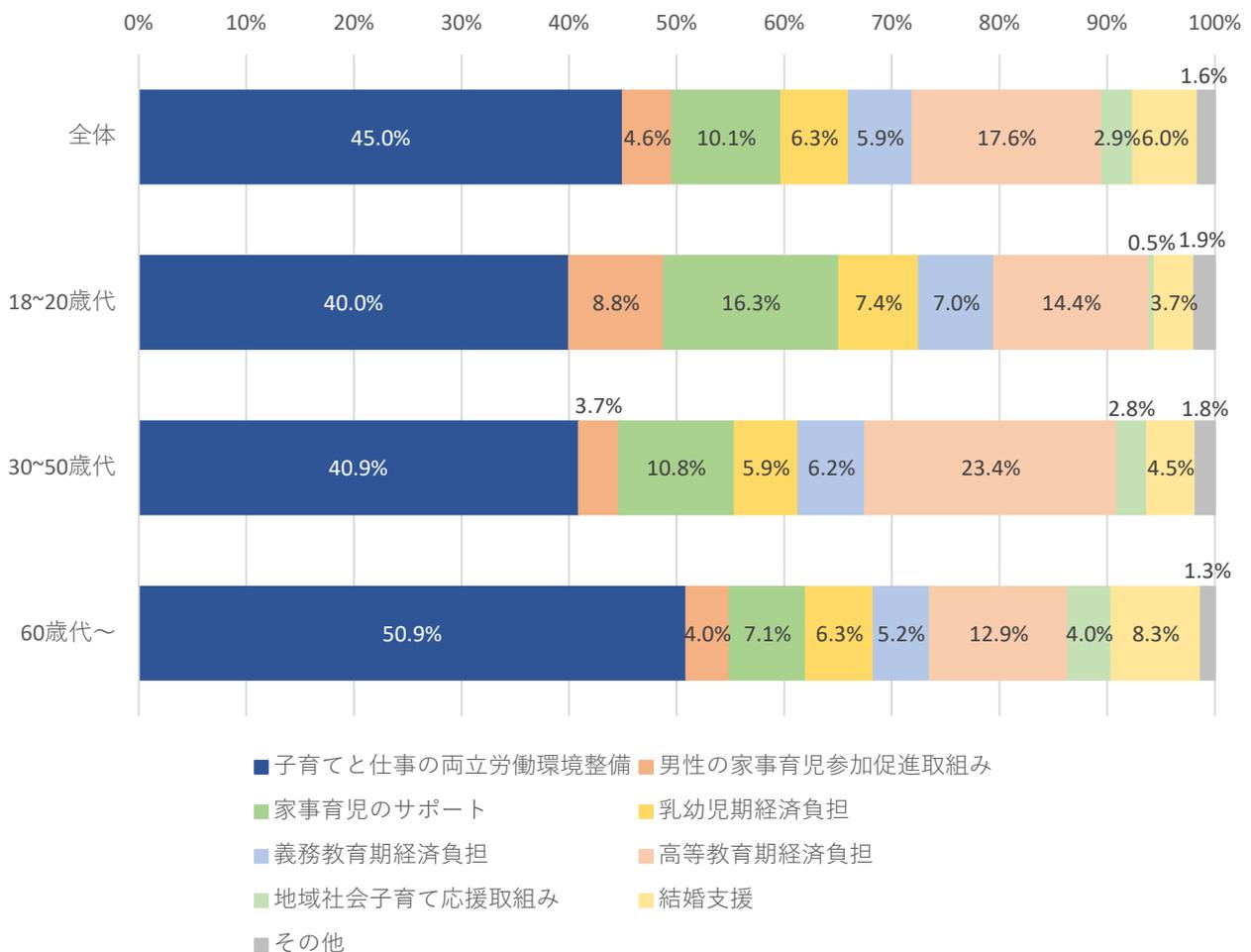


問 19 福井県は今後どのような子育て支援を強化していくべきだと思いますか。必要だと思うものを3つ選び、順位をつけて枠内に番号を記載してください。

＜最も必要＞（n=1,490）

1. 子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備（670）
2. 男性育休への支援や男性向け家事育児教室の開催など、男性の家事育児参加の促進に向けた取組み（68）
3. 家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援（150）
4. 乳幼児期（就学前）において経済的負担が減るような支援（94）
5. 義務教育期（小学校～中学校）において経済的負担が減るような支援（88）
6. 高等教育期（高校～大学）において経済的負担が減るような支援（263）
7. シニア世代をはじめとした地域住民による子育てサポートなど、地域社会で子育てを応援する取組み（44）
8. 出会いづくり支援や早婚夫婦への経済的支援などをはじめとした結婚支援（89）
9. その他（24）

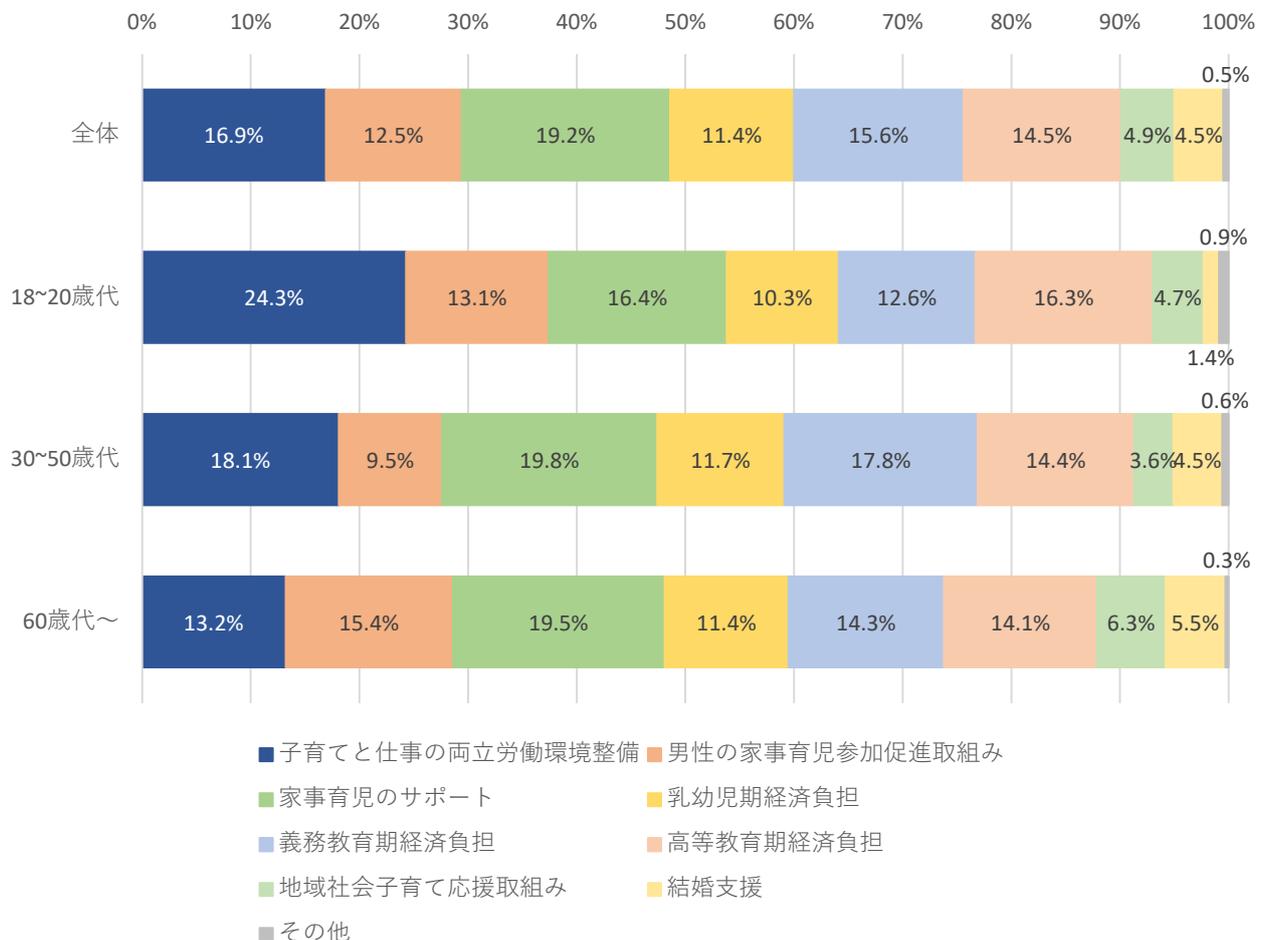
- ・ 全体では、「子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備」が45.0%で最も高く、次いで「高等教育期（高校～大学）において経済的負担が減るような支援」が17.6%で高かった。
- ・ 年代別では、18～20歳代「子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備」の40.0%に次いで、「家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援」が16.3%と高かった。



<2 番目に必要> (n=1,477)

1. 子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備 (250)
2. 男性育休への支援や男性向け家事育児教室の開催など、男性の家事育児参加の促進に向けた取組み (185)
3. 家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援 (283)
4. 乳幼児期(就学前)において経済的負担が減るような支援 (168)
5. 義務教育期(小学校~中学校)において経済的負担が減るような支援 (230)
6. 高等教育期(高校~大学)において経済的負担が減るような支援 (215)
7. シニア世代をはじめとした地域住民による子育てサポートなど、地域社会で子育てを応援する取組み (72)
8. 出会いづくり支援や早婚夫婦への経済的支援などをはじめとした結婚支援 (66)
9. その他 (8)

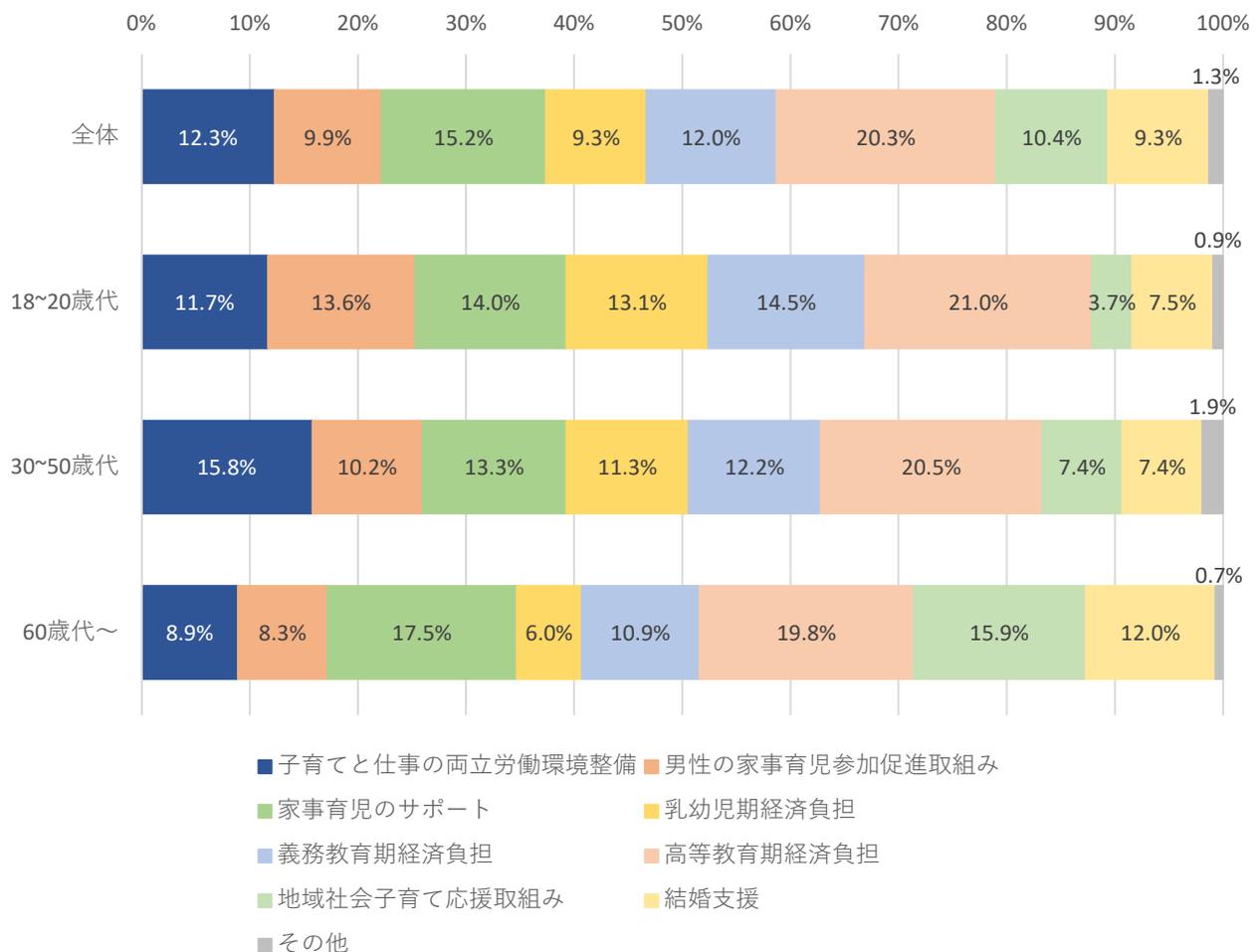
- ・全体では、「家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援」が 19.2%で最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備」が 16.9%で高かった。
- ・年代別では、18歳~20歳代では、「子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備」が 24.3%で高く、30歳~50歳代では、「家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援」が 19.8%で高かった。



< 3 番目に必要 > (n=1,468)

1. 子育てと仕事を両立しやすい労働環境整備 (181)
2. 男性育休への支援や男性向け家事育児教室の開催など、男性の家事育児参加の促進に向けた取組み (145)
3. 家事育児のサポートや行政と地域が連携した相談支援など、肉体的・精神的負担が減るような支援 (223)
4. 乳幼児期(就学前)において経済的負担が減るような支援 (137)
5. 義務教育期(小学校~中学校)において経済的負担が減るような支援 (176)
6. 高等教育期(高校~大学)において経済的負担が減るような支援 (298)
7. シニア世代をはじめとした地域住民による子育てサポートなど、地域社会で子育てを応援する取組み (153)
8. 出会いづくり支援や早婚夫婦への経済的支援などをはじめとした結婚支援 (137)
9. その他 (18)

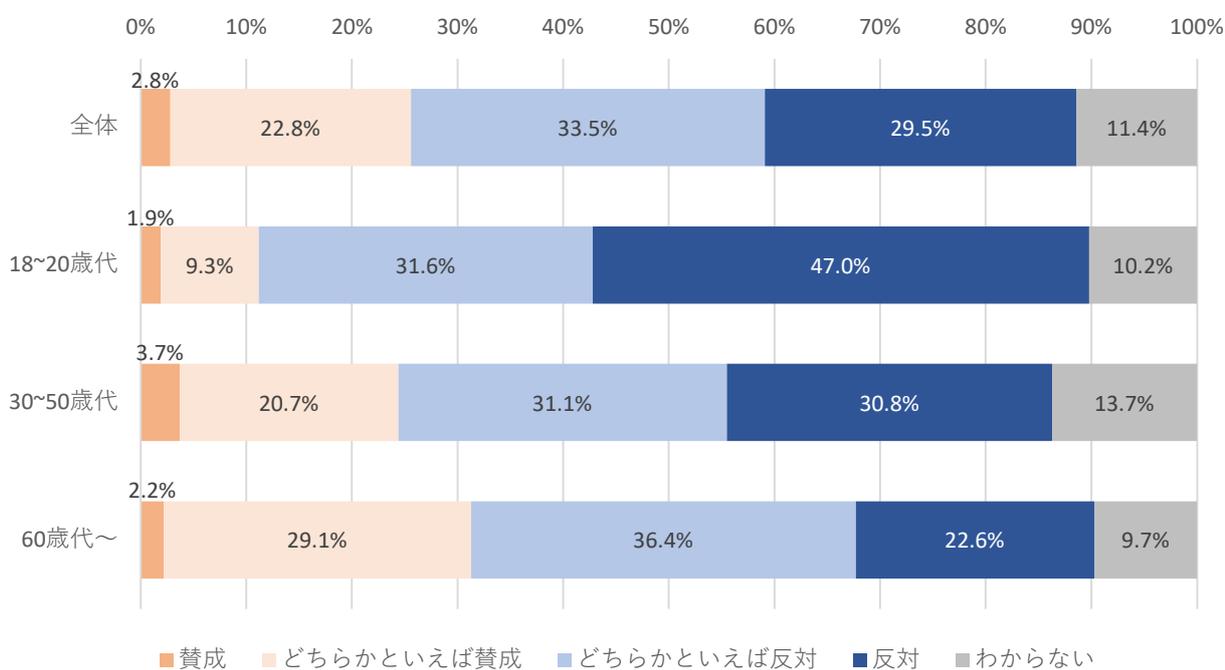
- ・ 全体では、「高等教育期(高校~大学)において経済的負担が減るような支援」が 20.3% で高かった。
- ・ 年代別では、18歳~20歳代では、「高等教育期(高校~大学)において経済的負担が減るような支援」が 21.0%、30歳代~50歳代では、20.5% で高かった。



問 20 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思われますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,537)

1. 賛成 (43)
2. どちらかといえば賛成 (350)
3. どちらかといえば反対 (515)
4. 反対 (453)
5. わからない (176)

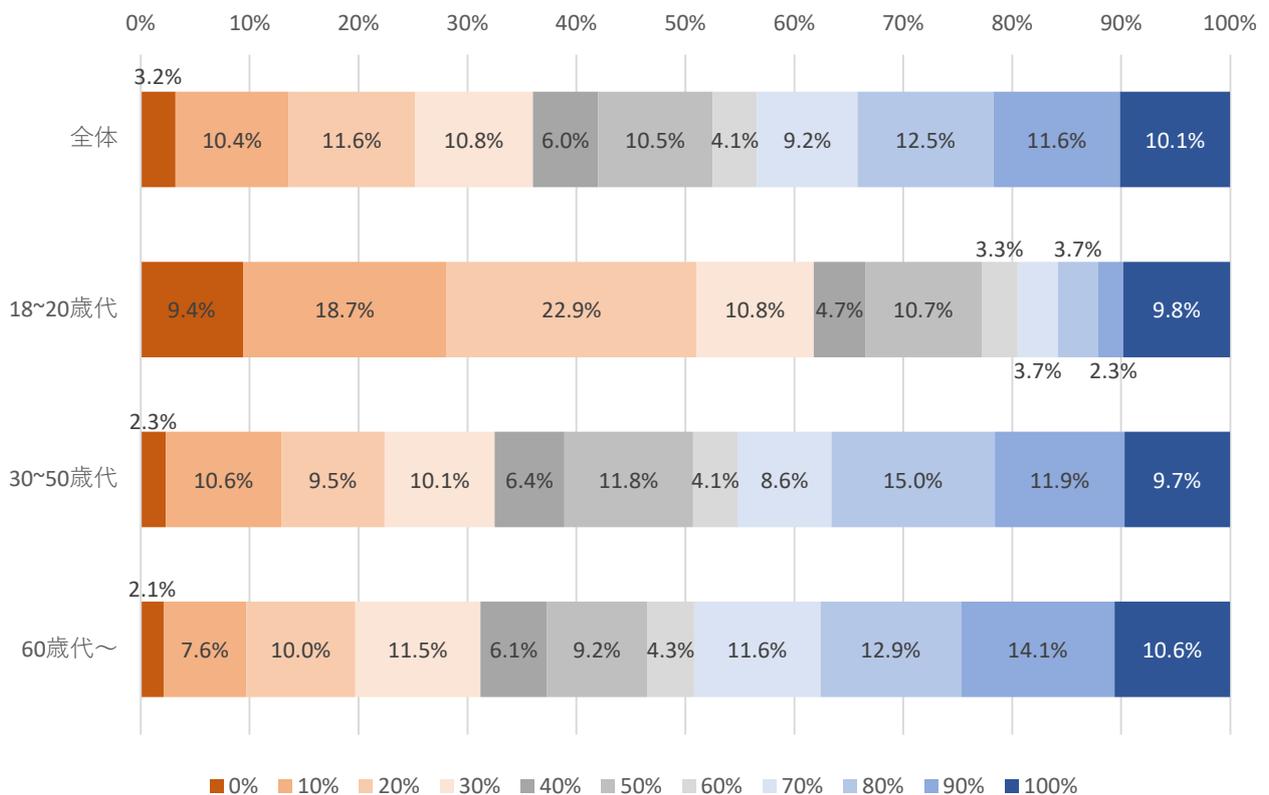
- ・全体では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計が25.6%であったのに対し、「どちらかといえば反対」と「反対」の合計は63.0%となった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「どちらかといえば反対」と「反対」の合計は78.6%で、60歳代以上より19.6%高かった。



問 21 家事の分担について、お聞きします。あなたご自身が担っている家事の割合は何パーセント程度ですか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,539)

- |               |                |              |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0% (49)    | 2. 10% (160)   | 3. 20% (178) |
| 4. 30% (166)  | 5. 40% (93)    | 6. 50% (162) |
| 7. 60% (63)   | 8. 70% (142)   | 9. 80% (193) |
| 10. 90% (178) | 11. 100% (155) |              |

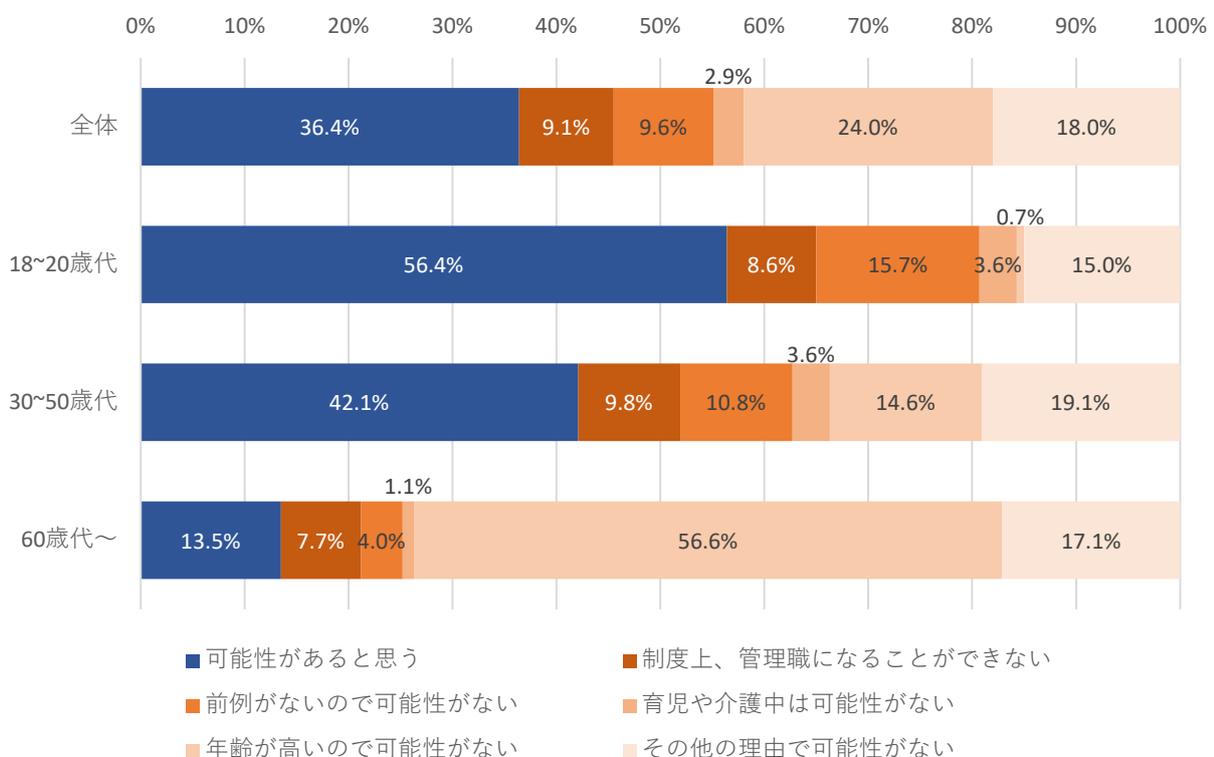
- ・全体では、「80%」が12.5%で最も高く、次いで「20%」と「90%」が11.6%で高かった。
- ・年代別では、18歳～20歳代は、「20%」が22.9%で最も高く、30歳～50歳代では、「80%」が15.0%で最も高かった。



問 22 あなたは管理職になれる可能性はありますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,017) ※「7. 現在働いていない(489)」を除く

1. 可能性があると思う (370)
2. 制度上、管理職になることができない (92)
3. 自分の職種やコースには前例がないので可能性がないと思う (98)
4. 育児や介護などをしている場合、前例がないので可能性がないと思う (30)
5. 年齢が高いので、可能性がないと思う (244)
6. その他の理由で可能性がないと思う(183)

- ・全体では、仕事をしている人の中で「可能性があると思う」が36.4%で最も高く、次いで「年齢が高いので可能性がない」が24.0%で高かった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「可能性があると思う」が56.4%で最も高かった。



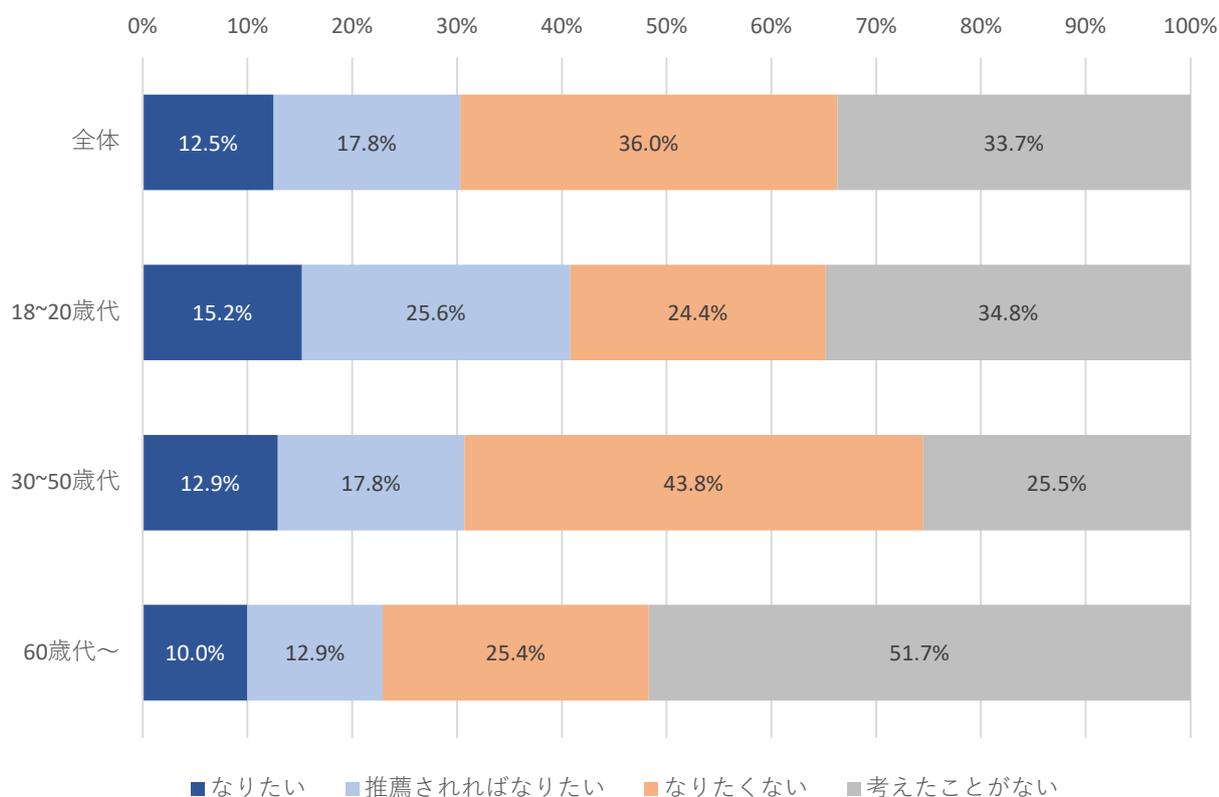
問 23 あなたは管理職になりたいと思いますか。

最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

(n=1,047) ※「5. 現在働いていない(453)」を除く

1. なりたい (131)
2. 推薦されればなりたい (186)
3. なりたくない (377)
4. 考えたことがない (353)

- ・全体では、仕事をしている人の中で「なりたくない」が36.0%で最も高く、次いで「考えたことがない」が33.7%で高かった。
- ・年代別では、30歳～50歳代の「なりたくない」が43.8%で、全体より7.8%高かった。

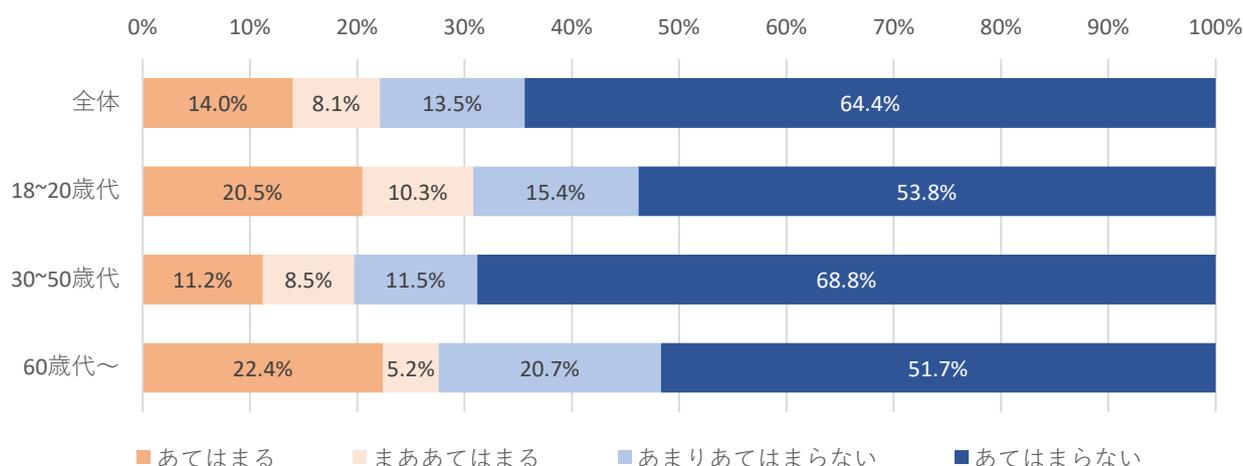


問 24 問 23 で 3 と答えた方のみお答えください。あなたが管理職になりたくないと思う理由は何ですか。各項目について最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

<① 周りに同性の管理職がない> (n=357)

1. あてはまる (50)
2. まああてはまる (29)
3. あまりあてはまらない (48)
4. あてはまらない (230)

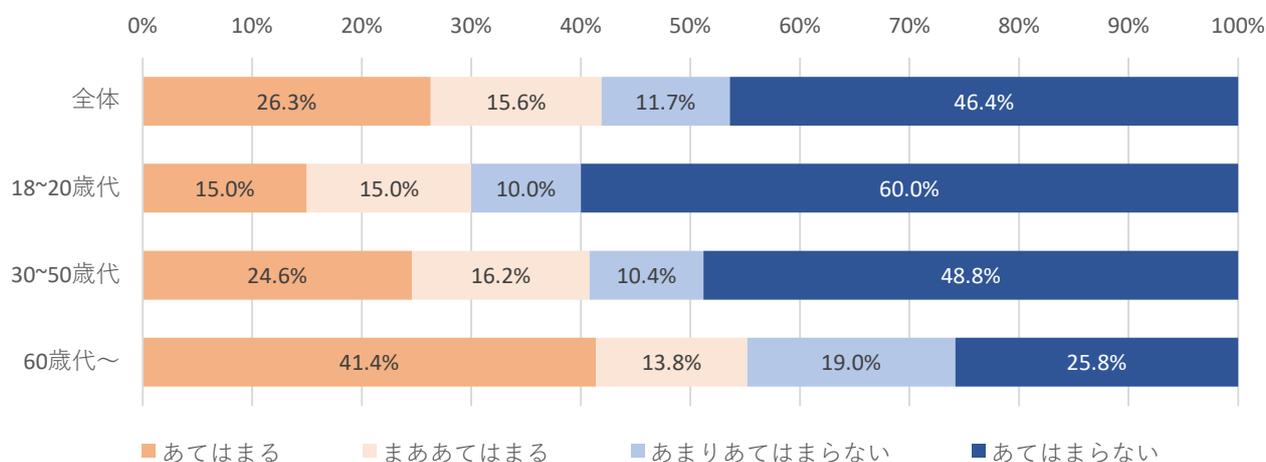
- ・全体では、「あてはまる」が14.0%だったのに対し、「あてはまらない」が64.4%であった。
- ・年代別では、30歳～50歳代の「あてはまらない」が68.8%で、全体より4.4%高かった。



<② 自分の雇用形態では昇進の可能性がない> (n=358)

1. あてはまる (94)
2. まああてはまる (56)
3. あまりあてはまらない (42)
4. あてはまらない (166)

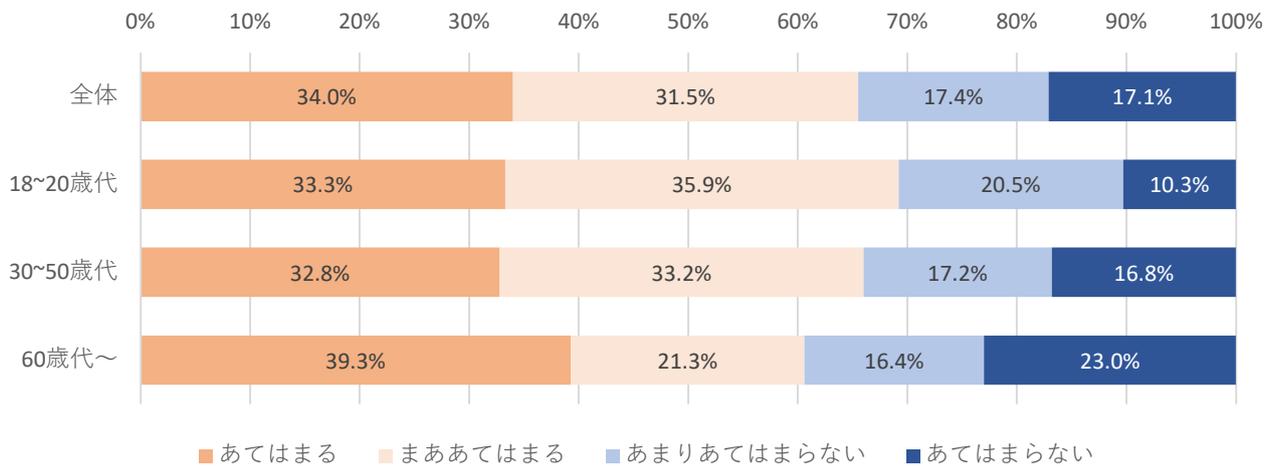
- ・全体では、「あてはまる」が26.1%だったのに対し、「あてはまらない」が46.4%であった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「あてはまらない」が60.0%で、全体より13.6%高かった。



<③ 自分には能力がない> (n=362)

1. あてはまる (123)
2. まああてはまる (114)
3. あまりあてはまらない (63)
4. あてはまらない (62)

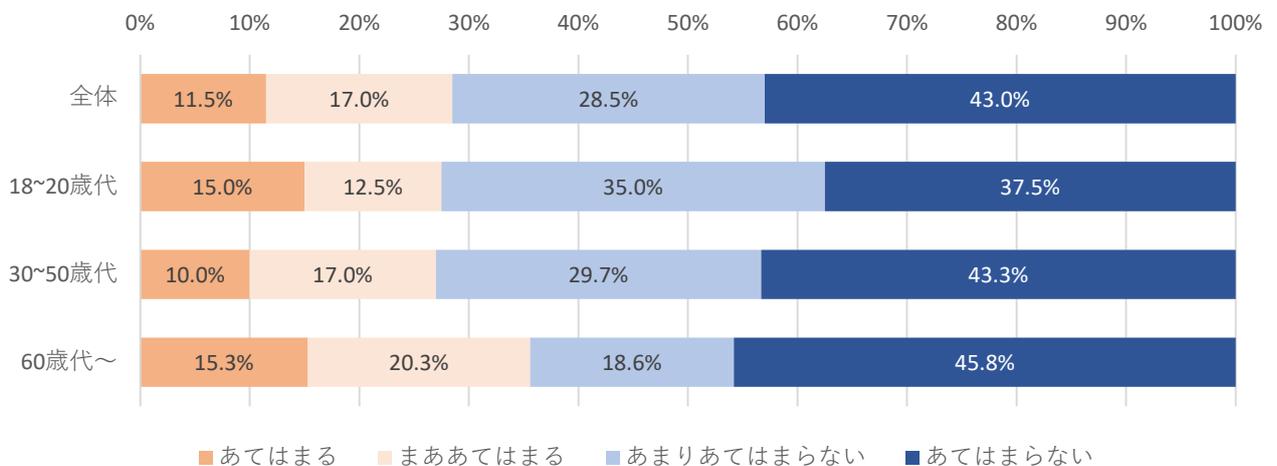
- ・ 全体では、「あてはまる」が34.0%だったのに対し、「あてはまらない」が17.1%であった。
- ・ 年代別では、60歳代の「あてはまらない」が23.0%で、全体より5.9%高かった。



<④ やっかみが出て足を引っ張られる> (n=358)

1. あてはまる (41)
2. まああてはまる (61)
3. あまりあてはまらない (102)
4. あてはまらない (154)

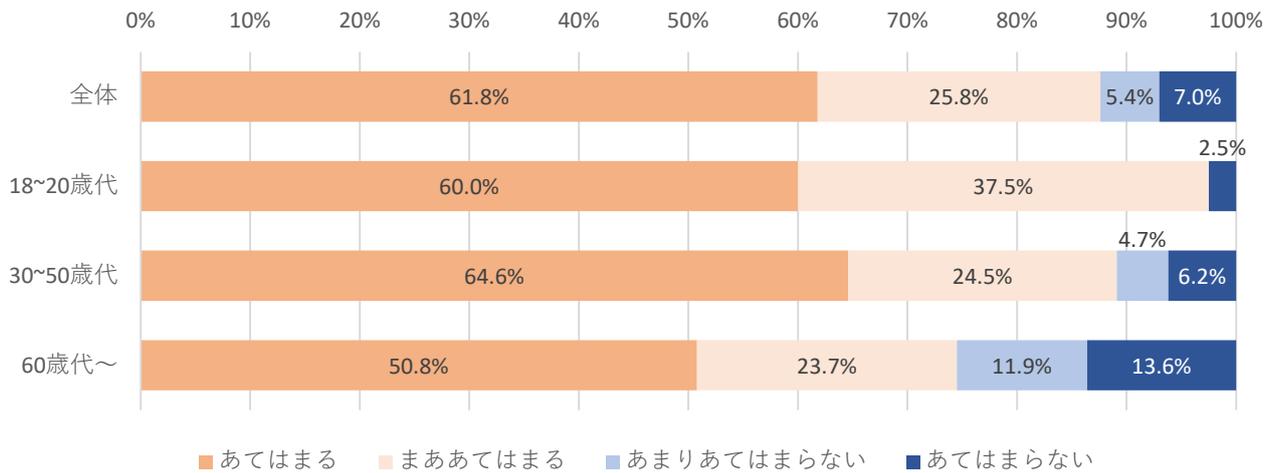
- ・ 全体では、「あてはまる」が11.5%だったのに対し、「あてはまらない」が43.0%であった。
- ・ 年代別では、18歳~20歳代の「あてはまる」が15.0%で、30歳~50歳代より5.0%高かった。



<⑤ やるべき仕事が増える> (n=356)

1. あてはまる (220)
2. まああてはまる (92)
3. あまりあてはまらない (19)
4. あてはまらない (25)

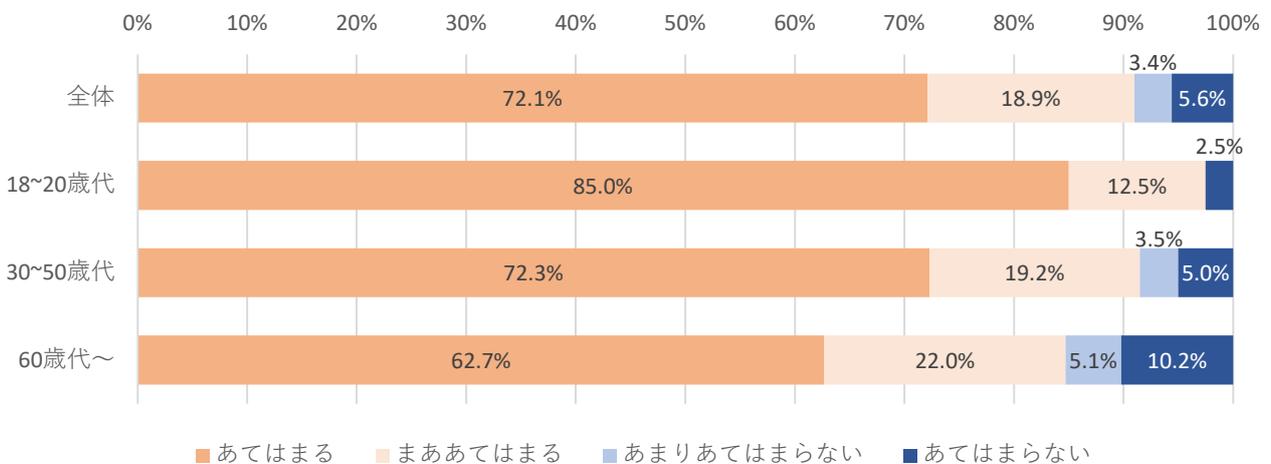
- ・全体では、「あてはまる」が61.8%だったのに対し、「あてはまらない」が7.0%であった。
- ・年代別では、18歳~20歳代の「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が97.5%であった。



<⑥ 責任が重くなる> (n=359)

1. あてはまる (259)
2. まああてはまる (68)
3. あまりあてはまらない (12)
4. あてはまらない (20)

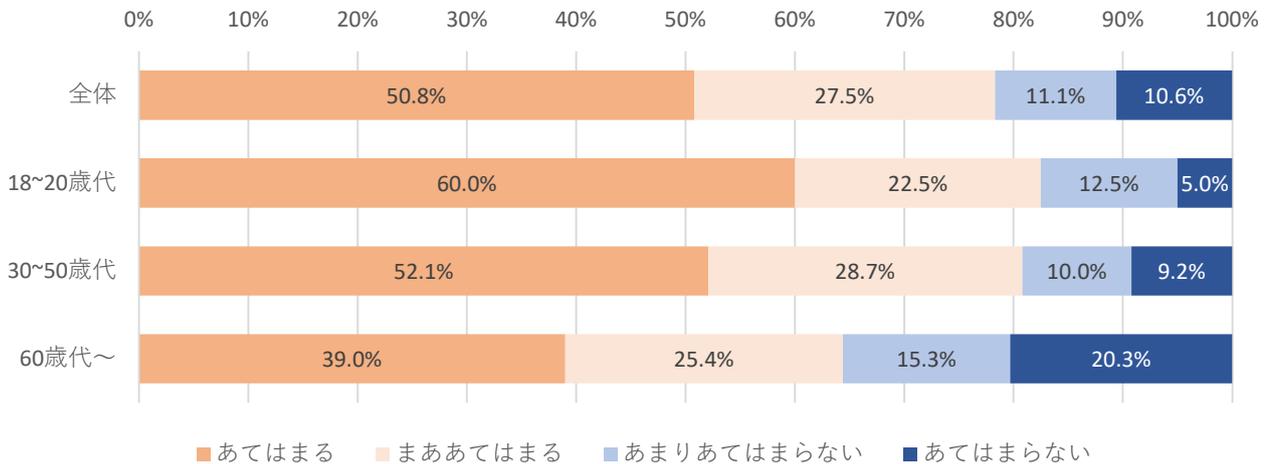
- ・全体では、「あてはまる」が72.1%だったのに対し、「あてはまらない」が5.6%であった。
- ・年代別では、18歳~20歳代の「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が97.5%であった。



<⑦ メリットがないまたはメリットが低い> (n=360)

1. あてはまる (183)
2. まああてはまる (99)
3. あまりあてはまらない (40)
4. あてはまらない (38)

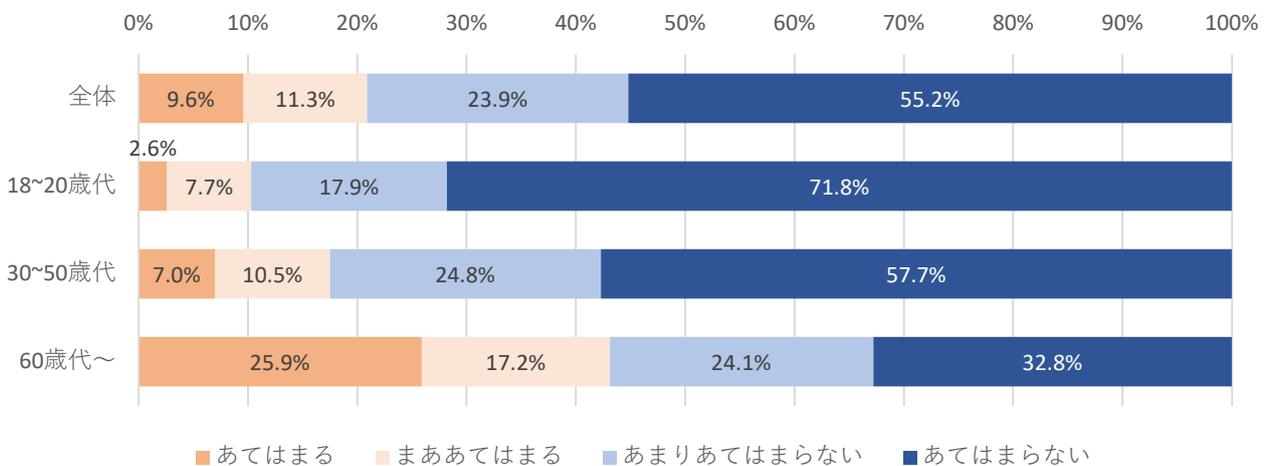
- ・全体では、「あてはまる」が50.8%だったのに対し、「あてはまらない」が10.6%であった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が82.5%であった。



<⑧ 家族がいい顔をしない> (n=355)

1. あてはまる (34)
2. まああてはまる (40)
3. あまりあてはまらない (85)
4. あてはまらない (196)

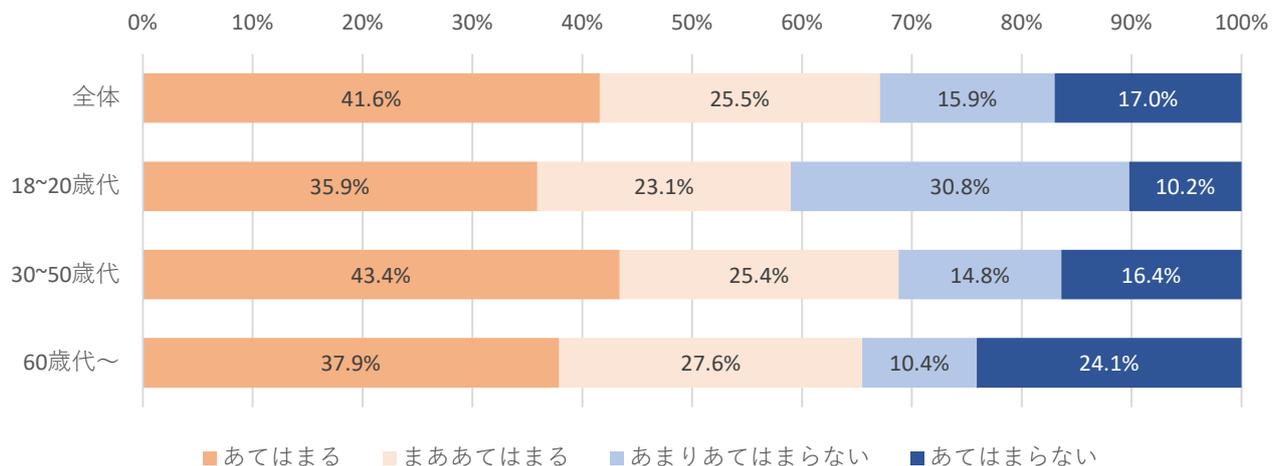
- ・全体では、「あてはまる」が9.6%だったのに対し、「あてはまらない」が55.2%であった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計が89.7%であった。



<⑨ 仕事と家庭の両立が困難になる> (n=353)

1. あてはまる (147)
2. まああてはまる (90)
3. あまりあてはまらない (56)
4. あてはまらない (60)

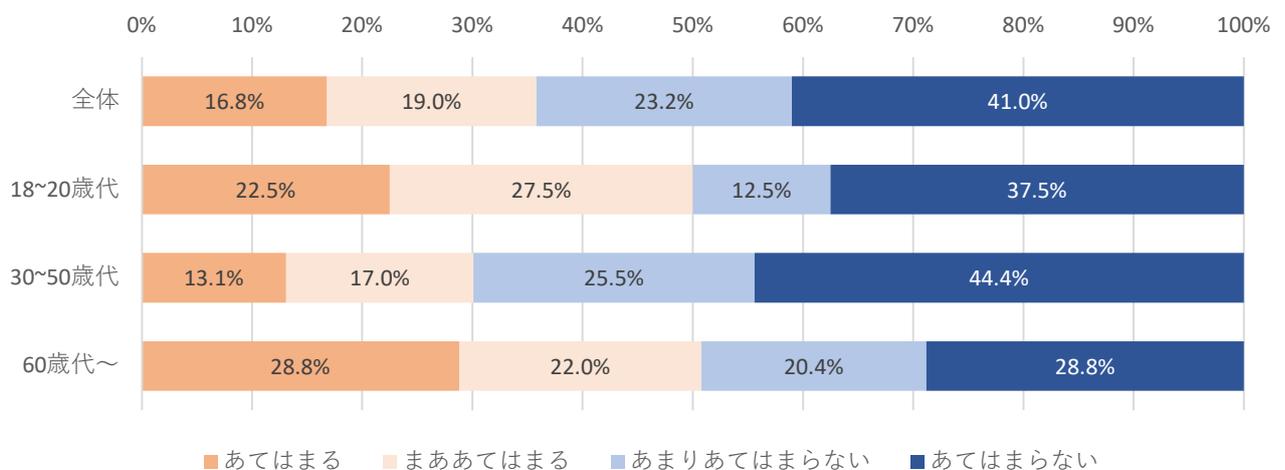
- ・全体では、「あてはまる」が41.6%だったのに対し、「あてはまらない」が17.0%であった。
- ・年代別では、30歳～50歳代の「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が68.8%であった。



<⑩もともと長く勤める気がない> (n=358)

1. あてはまる (60)
2. まああてはまる (68)
3. あまりあてはまらない (83)
4. あてはまらない (147)

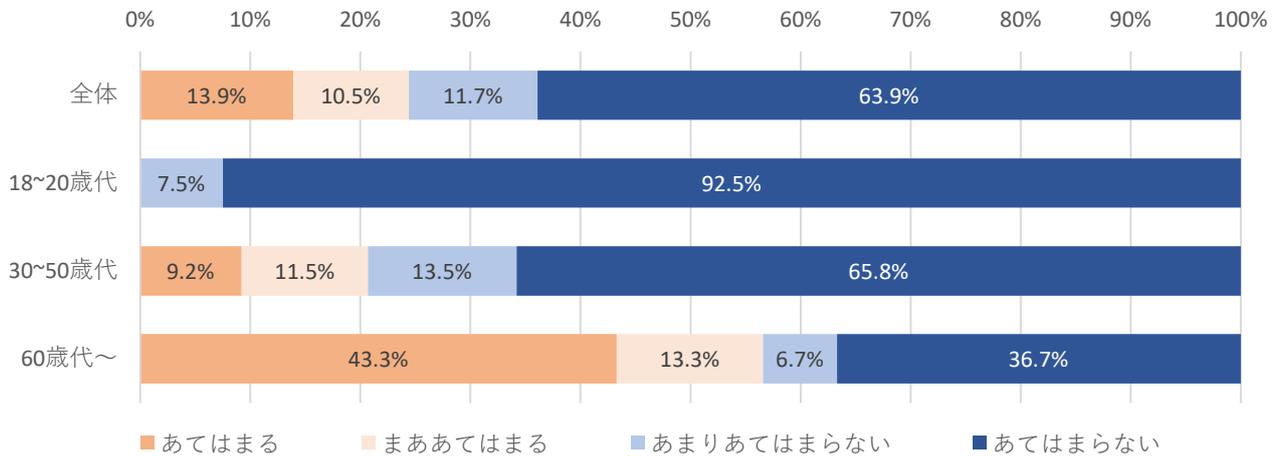
- ・全体では、「あてはまる」が16.8%だったのに対し、「あてはまらない」が41.0%であった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「あてはまる」が22.5%で、30歳～50歳代より9.4%高かった。



<⑪ 定年が近い> (n=360)

1. あてはまる (50)
2. まああてはまる (38)
3. あまりあてはまらない (42)
4. あてはまらない (230)

・全体では、「あてはまる」が13.9%だったのに対し、「あてはまらない」が63.9%であった。

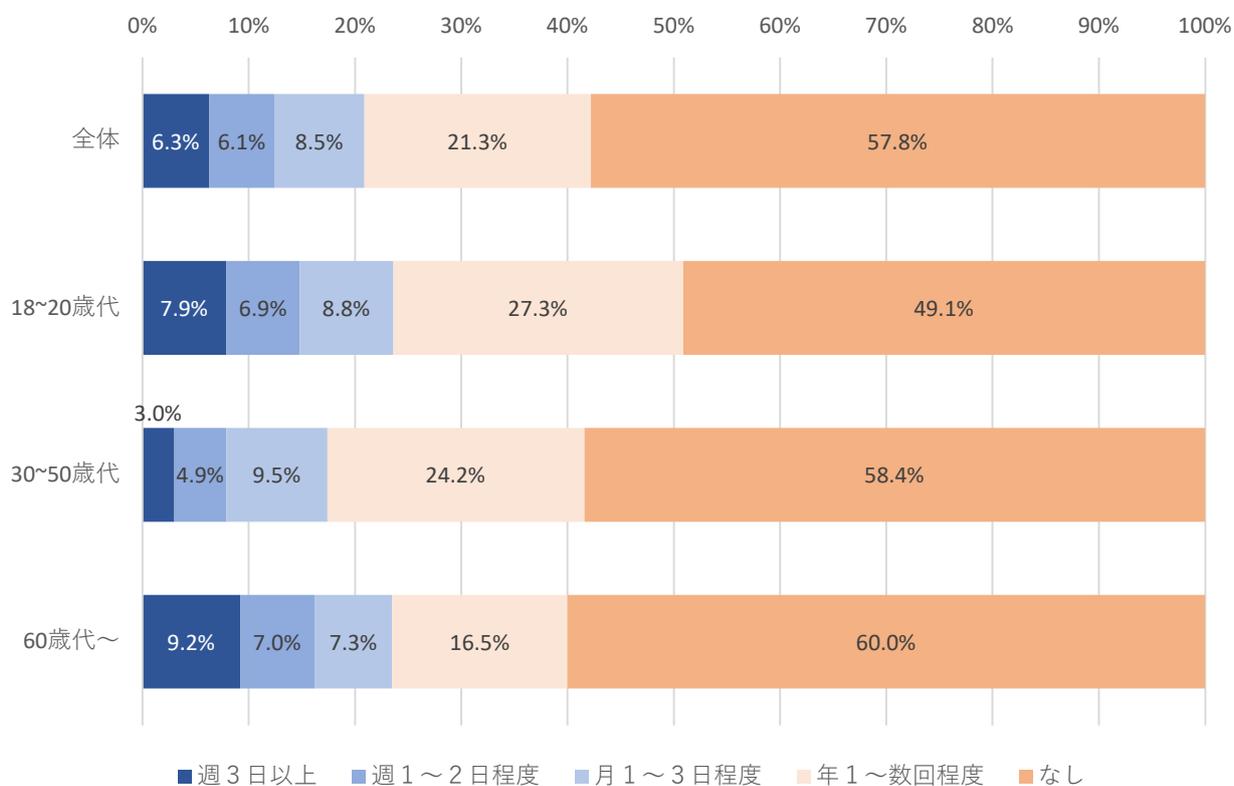


問 25 スポーツ・文化芸術についてお聞きします。あなたは、この1年間に、「スポーツ」と「文化芸術イベント」を直接観戦・鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞等）したことはありましたか。それぞれについて、について最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

<スポーツ（観戦）>（n=1,525）

1. 週3日以上（97）
2. 週1～2日程度（93）
3. 月1～3日程度（129）
4. 年1～数回程度（325）
5. なし（881）

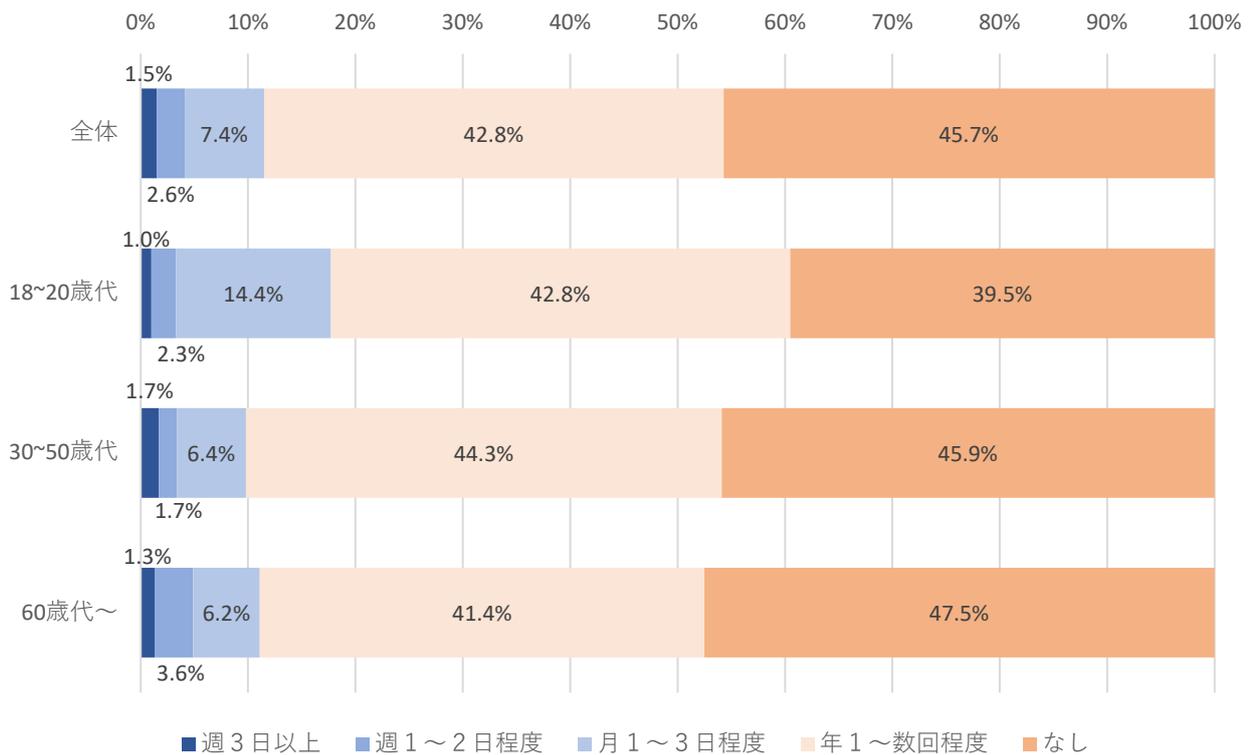
- ・全体では、「なし」が57.8%で最も高く、次いで「年1～数回程度」が21.3%で高かった。
- ・年代別では、30歳～50歳代の「なし」が58.4%で高く、60歳代以上の「週3日以上」は9.2%と「全体」より2.9%高かった。



<文化芸術イベント（鑑賞）>（n=1,535）

1. 週3日以上（22）
2. 週1～2日程度（40）
3. 月1～3日程度（114）
4. 年1～数回程度（657）
5. なし（702）

- ・全体では、「なし」が45.7%で最も高く、次いで「年1～数回程度」が42.8%で高かった。
- ・年代別では、60歳代以上の「なし」が47.5%で高く、18歳～20歳代より8.0%高かった。

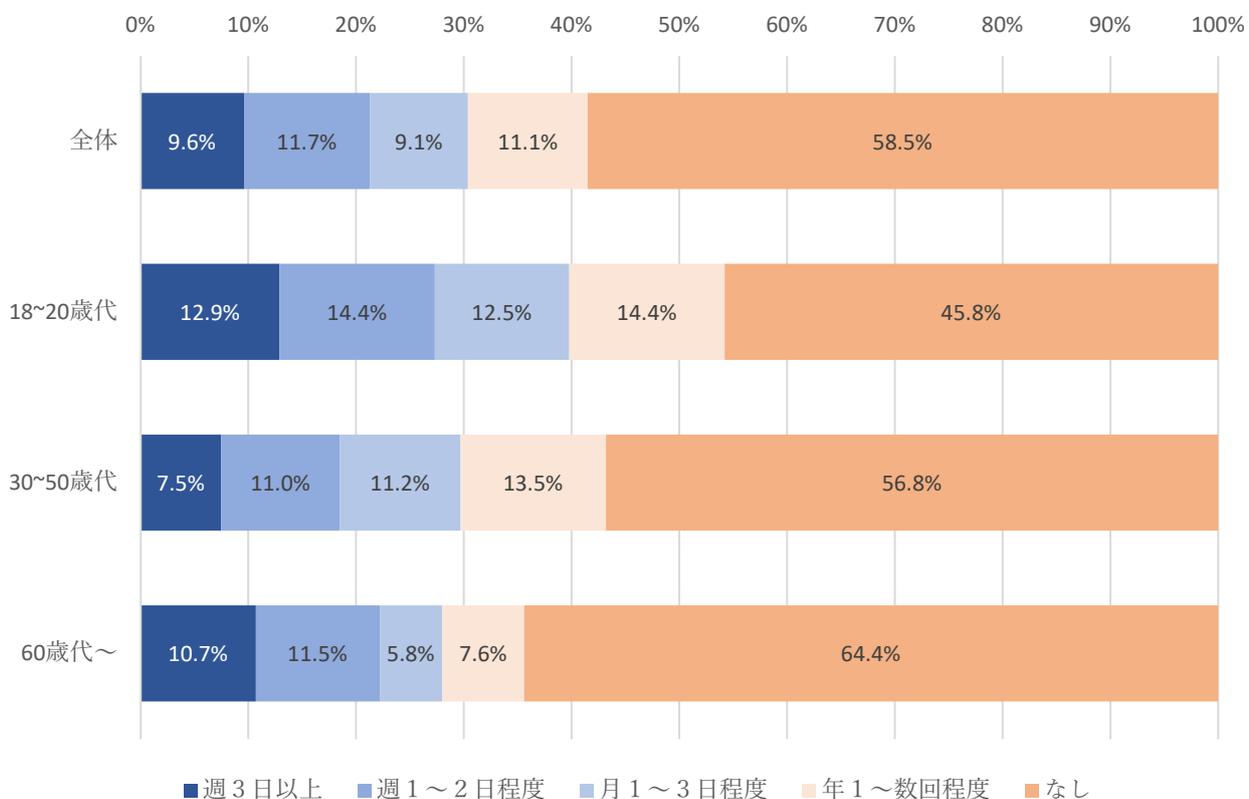


問 26 あなたは、この1年間に、「スポーツ」と「文化芸術活動」を実践したり、ボランティアとして活動を支援したことはありましたか。それぞれについて、最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

<スポーツ（実践）> (n=1,527)

1. 週3日以上 (147)
2. 週1～2日程度 (178)
3. 月1～3日程度 (139)
4. 年1～数回程度 (170)
5. なし (893)

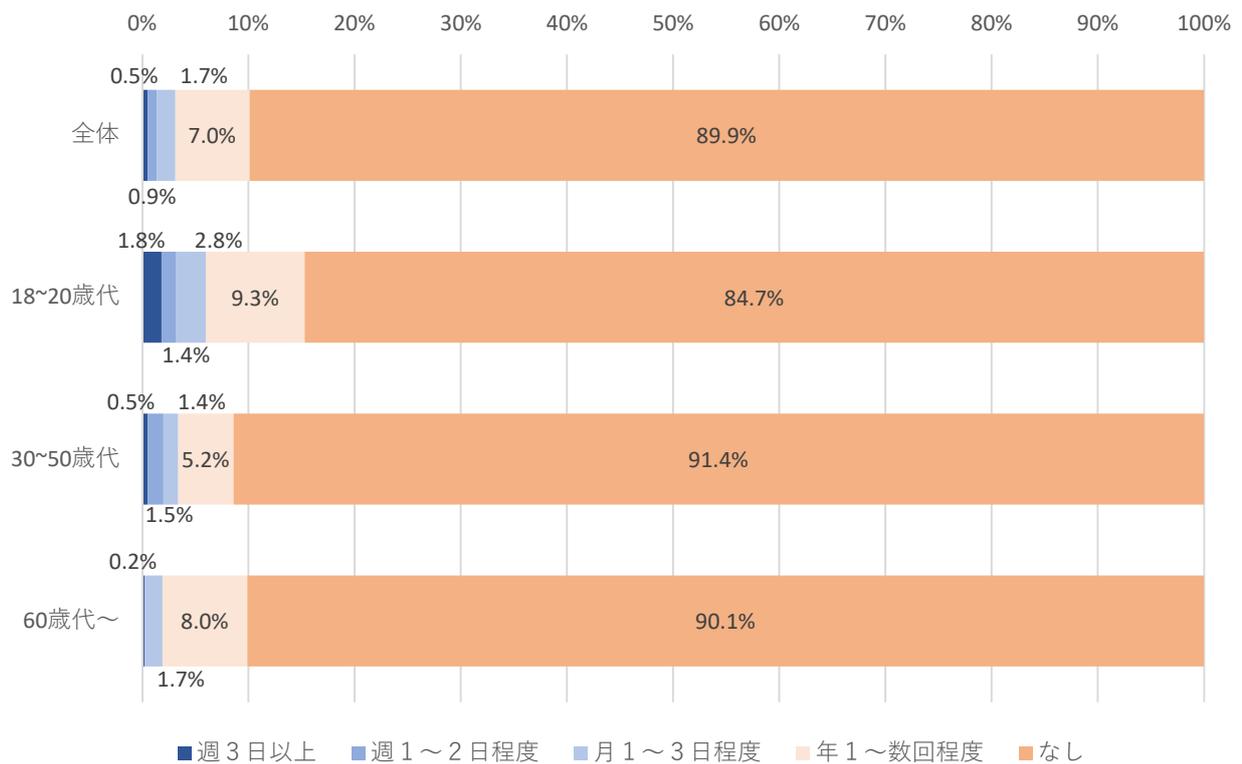
- ・全体では、「なし」が58.5%で最も高く、次いで「週1～2日程度」が11.7%で高かった。
- ・「年代別」では、「60歳代以上」の「なし」が64.4%で高く、18歳～20歳代より18.6%高かった。



<スポーツ（ボランティア）>（n=1,505）

1. 週3日以上（8）
2. 週1～2日程度（13）
3. 月1～3日程度（26）
4. 年1～数回程度（105）
5. なし（1,353）

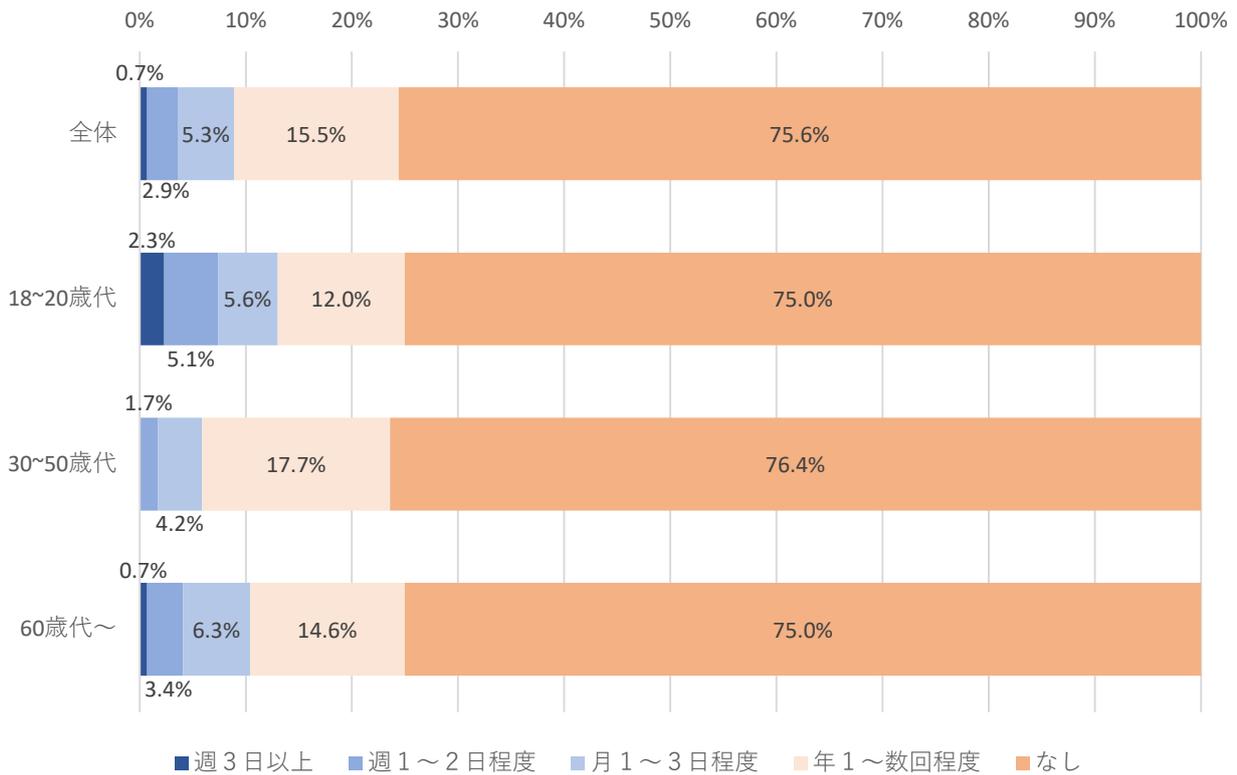
- ・全体では、「なし」が89.9%であった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「年1回以上」のボランティア経験者が15.3%で最も高かった。



<文化芸術活動（実践）>（n=1,524）

1. 週3日以上（10）
2. 週1～2日程度（44）
3. 月1～3日程度（81）
4. 年1～数回程度（237）
5. なし（1,152）

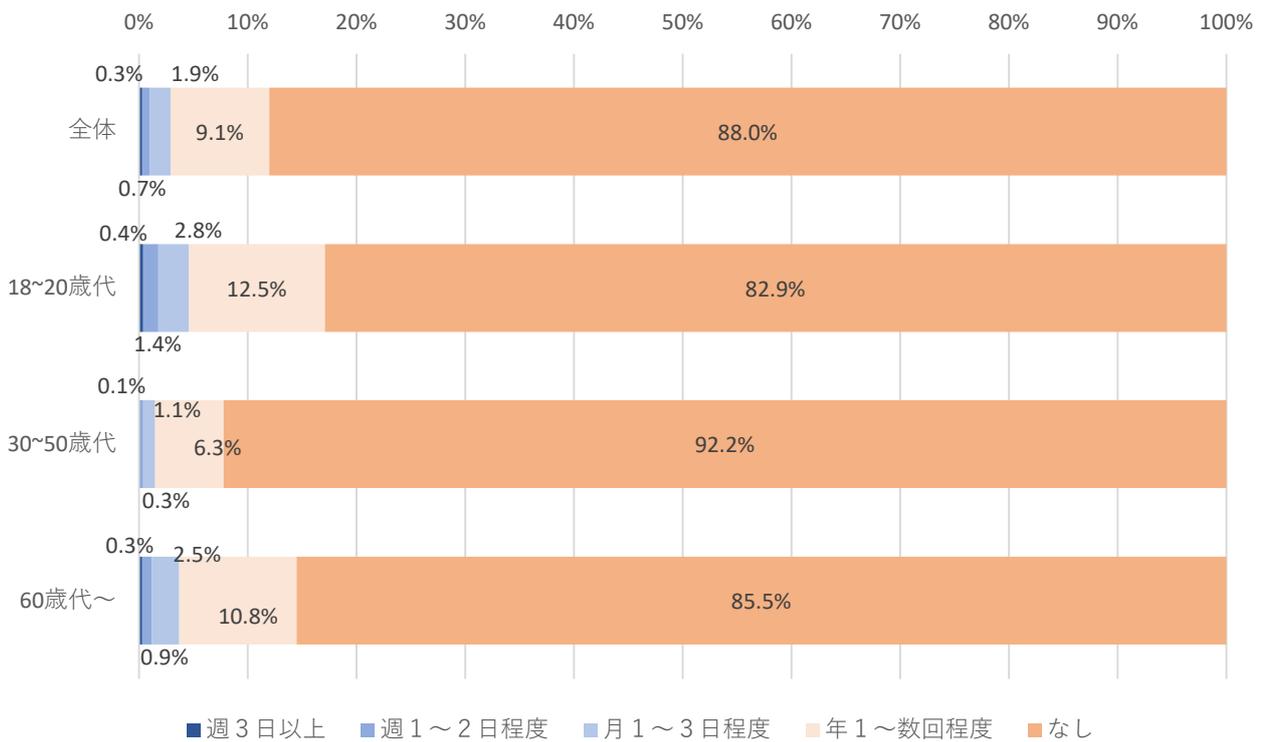
- ・全体では、「なし」が75.6%で最も高く、次いで「年1～数回程度」が15.5%と高かった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「週3日以上」が2.3%で他の年代より高かった。



<文化芸術活動（ボランティア）>（n=1,515）

1. 週3日以上（4）
2. 週1～2日程度（11）
3. 月1～3日程度（29）
4. 年1～数回程度（138）
5. なし（1,333）

- ・全体では、「なし」が88.0%で最も高く、次いで「年1～数回程度」が9.1%で高かった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「年1～数回程度」が12.5%で他の年代より高かった。

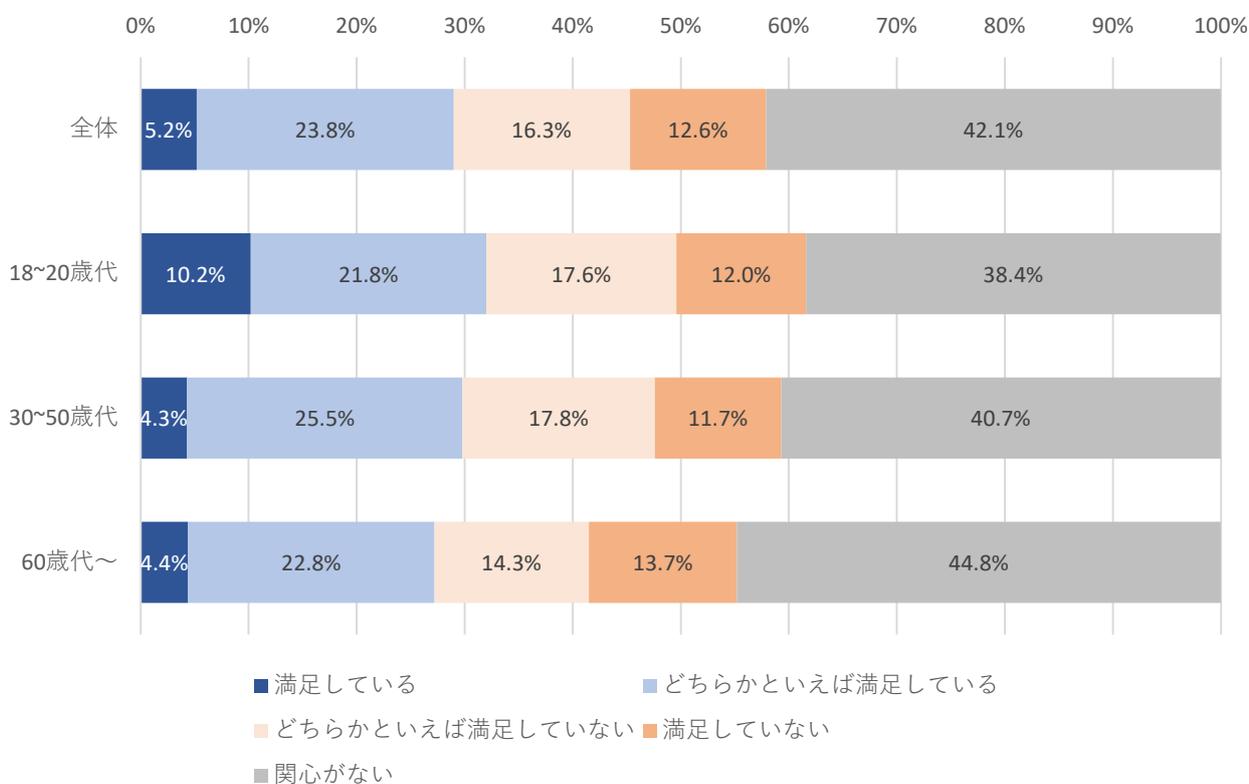


問 27 あなたは、お住まいの地域での「スポーツに関する環境」と「文化的な環境」に満足していますか。それぞれについて、について最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

＜スポーツの実践に関する環境＞（n=1,522）

1. 満足している（79）
2. どちらかといえば満足している（362）
3. どちらかといえば満足していない（248）
4. 満足していない（192）
5. 関心がない（641）

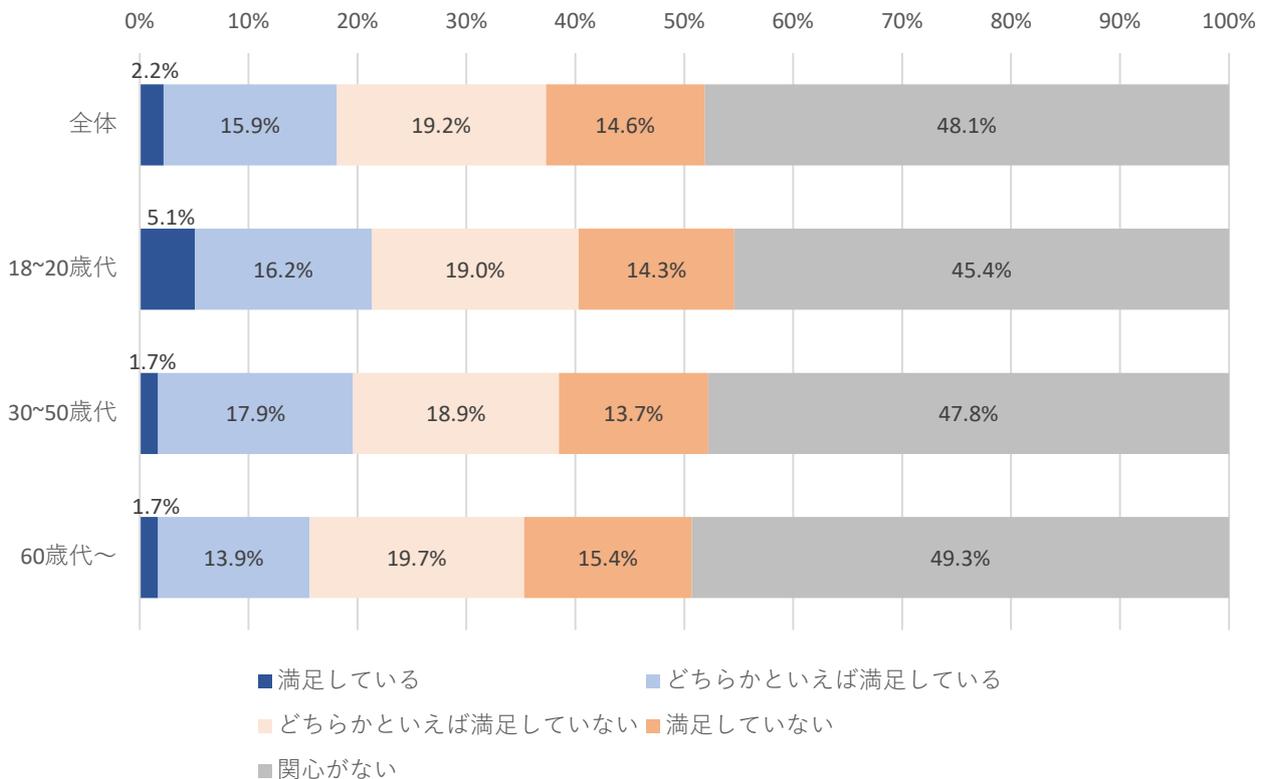
- ・全体では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が29.0%で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計が28.9%とほぼ同じであった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が32.0%で他の年代より高かった。



<スポーツの直接観戦・ボランティア参加に関する環境> (n=1,512)

1. 満足している (33)
2. どちらかといえば満足している (241)
3. どちらかといえば満足していない (291)
4. 満足していない (220)
5. 関心がない (727)

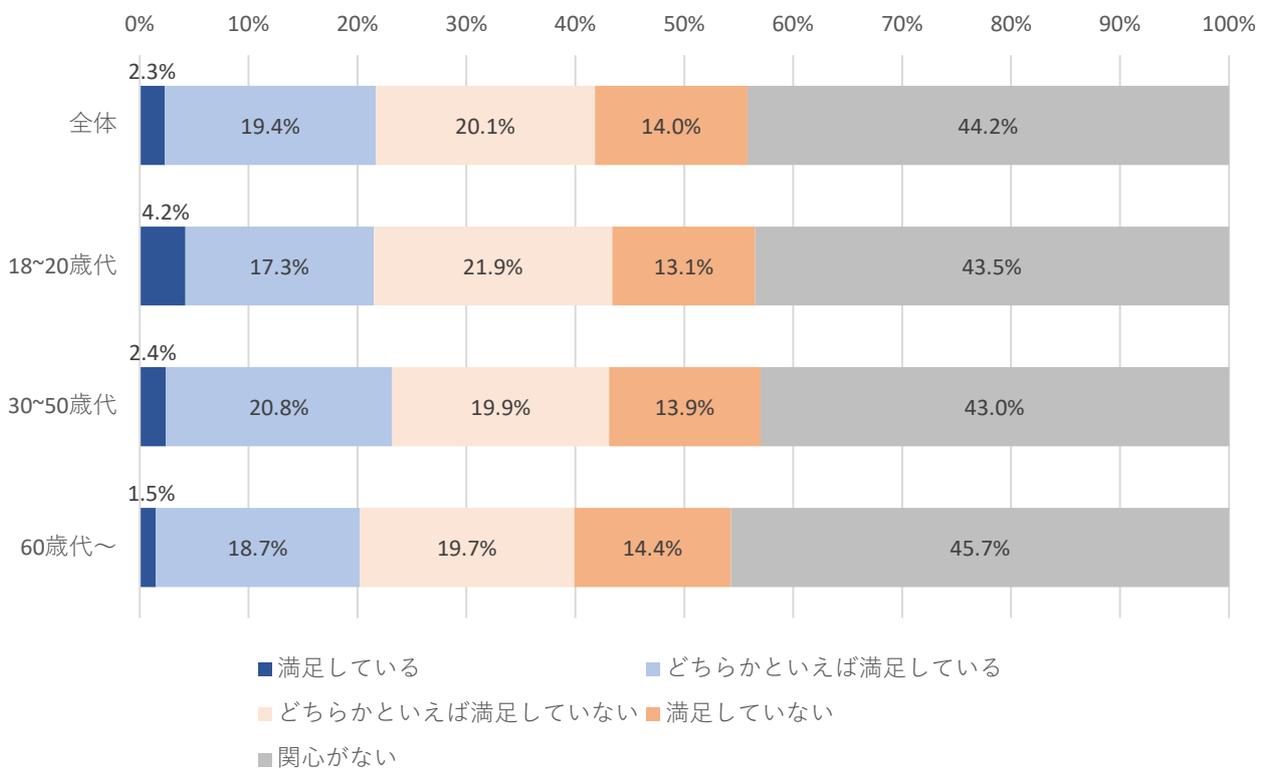
- ・全体では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が18.1%であったのに対し、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計が33.8%となった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が21.3%で他の年代より高かった。



＜文化芸術活動の実践に関する環境＞（n=1,514）

1. 満足している（35）
2. どちらかといえば満足している（294）
3. どちらかといえば満足していない（304）
4. 満足していない（212）
5. 関心がない（669）

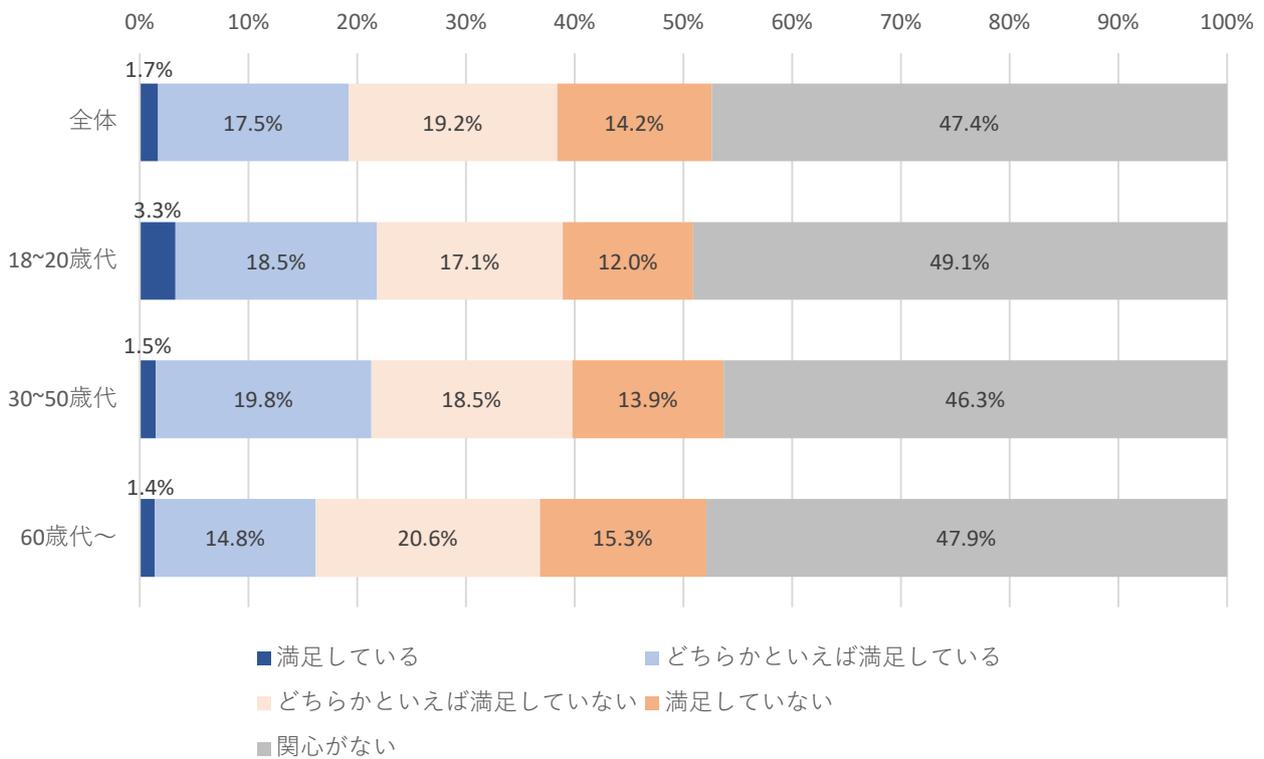
- ・全体では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が21.7%であったのに対し、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計が34.1%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が23.2%で他の年代より高かった。



＜文化芸術の鑑賞・ボランティア参加に関する環境＞（n=1,518）

1. 満足している（26）
2. どちらかといえば満足している（266）
3. どちらかといえば満足していない（291）
4. 満足していない（216）
5. 関心がない（719）

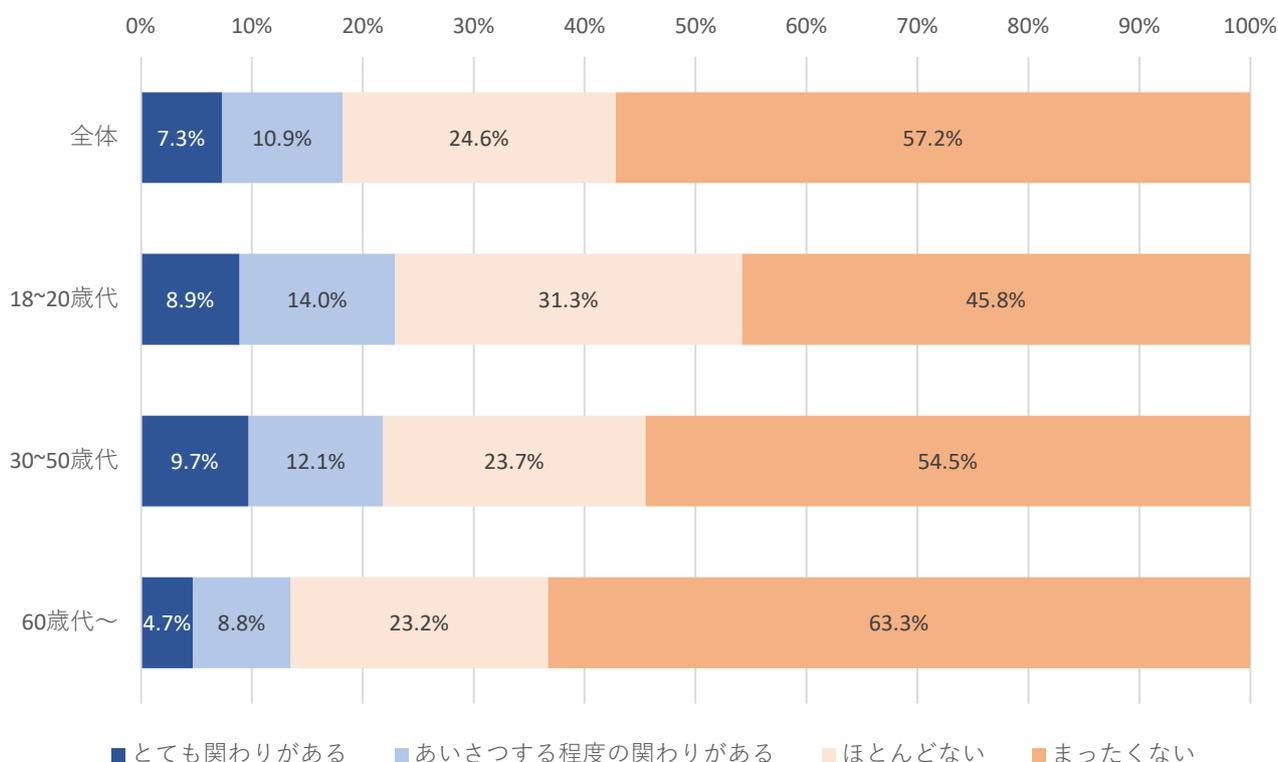
- ・全体では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が19.2%であったのに対し、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計が33.4%となった。
- ・年代別では、18歳～20歳代の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が21.8%で他の年代より高かった。



問 28 多文化共生について、お聞きします。あなたは、日常生活の中で、外国人住民とどの程度関わりがありますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。(n=1,551)

1. とても関わりがある (114)
2. あいさつする程度の関わりがある (169)
3. ほとんどない (381)
4. まったくない (887)

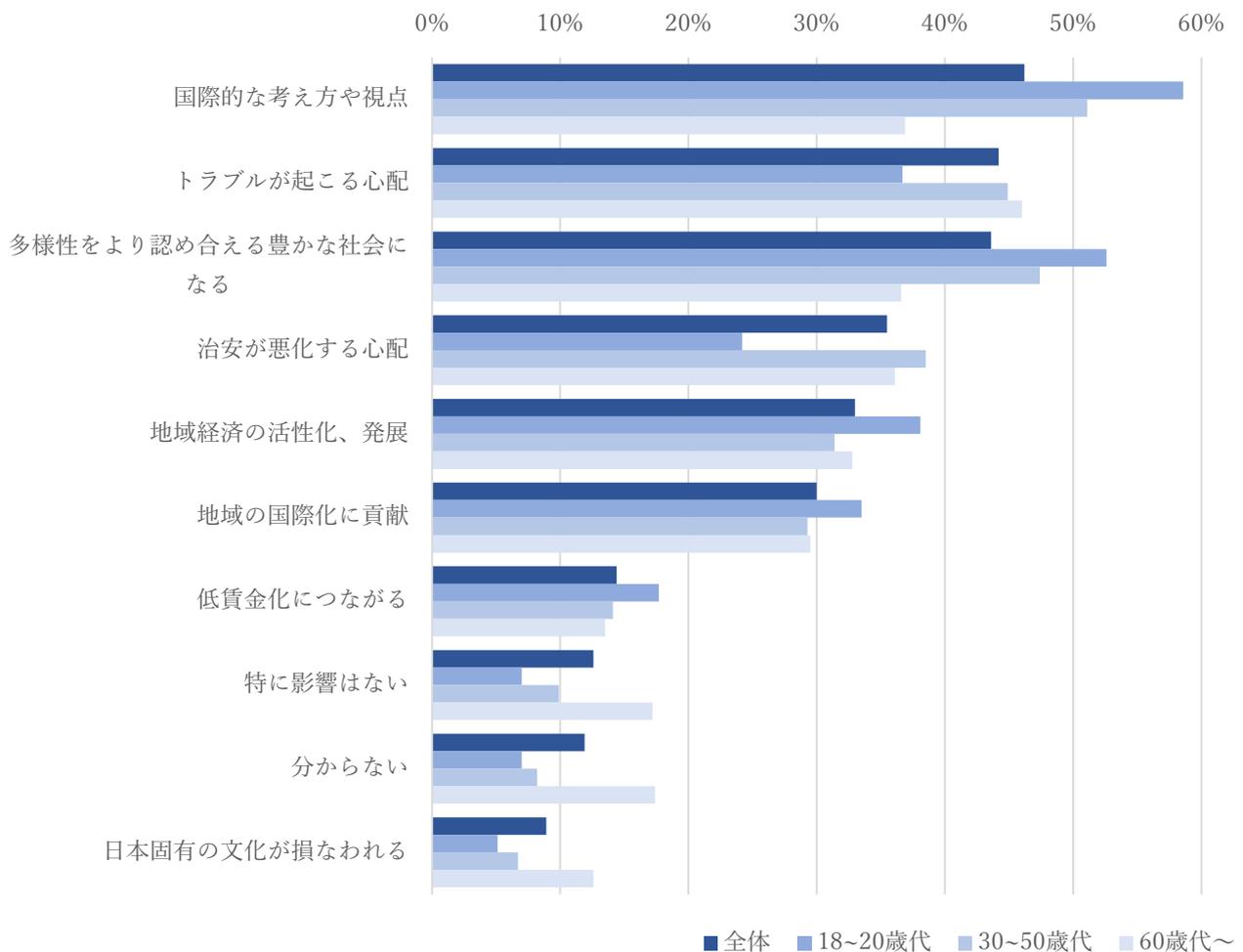
- ・全体では、「まったくない」が57.2%で最も高く、次いで「ほとんどない」が24.6%で高かった。
- ・年代別では、「とても関わりがある」で18歳～20歳代が8.9%、30歳～50歳代が9.7%で全体よりやや高かった。



問 29 あなたは、地域社会に外国人住民が増えることをどう思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。(n=1,489)

1. 様々な文化を持つ人たちの存在により、多様性をより認め合える豊かな社会になる (649)
2. 人口が増えることにより、地域経済の活性化、発展につながる (491)
3. 外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増え、国際的な考え方や視点につながる (688)
4. お互いに経済的、文化的に影響を与え合うことにより、地域の国際化に貢献する (446)
5. 習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが起こる心配がある (658)
6. 日本人の雇用が脅かされ、低賃金化につながる心配がある (214)
7. 治安が悪化する心配がある (528)
8. 日本固有の文化が損なわれる心配がある (133)
9. 特に影響はない (187)
10. 分からない (177)

- ・全体では、「外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増え、国際的な考え方や視点につながる」が46.2%で最も高く、次いで「習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが起こる心配がある」が44.2%で高かった。
- ・年代別の18歳～20歳代では、「外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増え、国際的な考え方や視点につながる」が58.6%と60歳代以上より21.7%高かった。



問 30 その他、ご意見があれば自由に記載してください。(略)